

特集 茗溪創基 150 年記念誌

目次

- グラビア …… 01 ～ 02
- 新年のご挨拶 …… 03
- 年頭挨拶 …… 04
- 茗溪創基 150 年記念誌編纂のこと …… 05 ～ 11
- 茗溪会費納入のお願い …… 12
- 茗溪フェロー協力者ご芳名・茗溪フェローご協力をお願い …… 13
- Peer Garden …… 14
- Peer Garden 誌上交流 …… 15
- 地域組織一覧表 …… 16
- 著書紹介 …… 17
- 筑波大学はいま …… 18
- 茗溪学園だより …… 19
- 追悼録 …… 20
- 令和 2 年秋の叙勲おめでとうございます …… 21
- 広報 …… 21
- 表紙のことば …… 21
- 編集後記 …… 21

茗溪



正月
2021
令和 3 年
no.1107



日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

ユーハイム®

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-4

お客様係 TEL 0120-860816

受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHS からはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭にいるような安らぎを提供すること
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務も行っています。



はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-17-10 シダックス新宿セントラルロード
TEL.03-6632-5052 (代表)

KAIT

力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。

■工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科
臨床工学科(臨床工学技士養成課程)※

■創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

■応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科(管理栄養士養成課程)※

■情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

■看護学部

看護学科(看護師養成課程)※

※2020年度に新学部への再編を構想中

常務理事 河野 隆二(S47農)

教職センター 大畑多津雄(S52理 数)(神奈川茗溪会会長)

教職センター 望月 正大(S51理 数)(同 副会長)

早期学生支援室 掛原 豊(S54農林学類)



神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

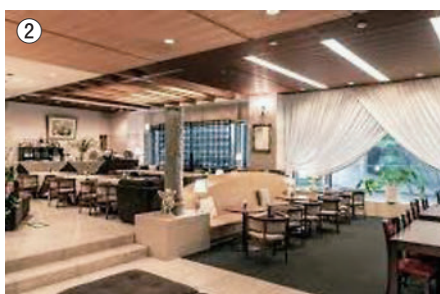


茗溪会館を ご利用下さい

期間限定(2020.10.1～2021.3.31)全室(10 部屋)無料貸し出し

茗溪会館には、会議や研修など会合に利用可能な部屋が 10 室あり、本来は室料をいただきますが、期間限定で茗溪会員の皆様に、会食を伴う会合に限るという条件付きで開放いたします。

以下、各室のご利用のアイデアなどを含めてご案内させていただきます。



上はオンラインを活用したキャリアカフェの様子です。5階事務局の会議コーナーでは、オンライン会議に利用できます。

これから各階のご利用について、ご案内をさせていただきます。

アーケード①をくぐり抜けると、奥行きある光景が目に入ります。広々としたカフェテラス②で、お食事やご会食にご利用下さい。

エントランス③を右手に進むとエレベーターホール④に出ます。左に見える黒いプレート⑤には、各階の会場名が記されています。

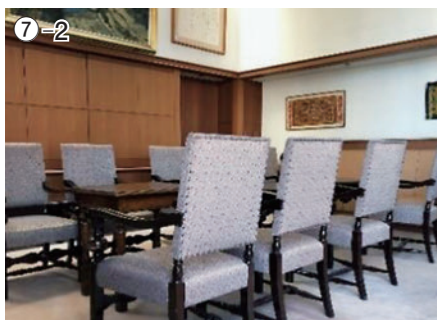
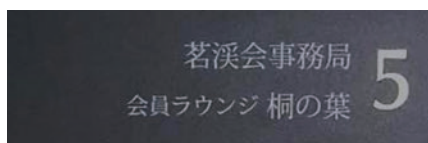
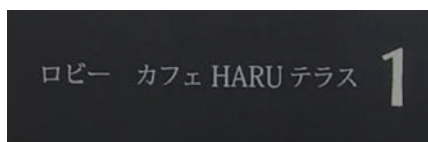
まず、最上階からご案内します。

5階でエレベーターをおりると向かいにラウンジ⑥が見えます。会員ラウンジ「桐の葉」⑦で、8～12人の打合せができます。

右手に行くと茗溪会事務局で、中に会議コーナー⑧があります。8～10人の打合せができます。

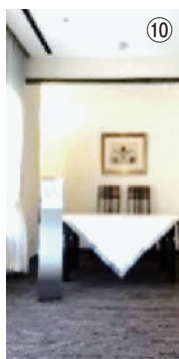
5階には、中会議室もあり、30人程の会合が開催可能です。

5階の施設利用につきましては、お手軽にご利用いただけますので、茗溪会事務局にご相談ください。



2・3・4階の施設利用の連絡先 “嘉ノ雅” 茗溪館 KANOBI MEIKEIKAN ☎ 03-5319-1890

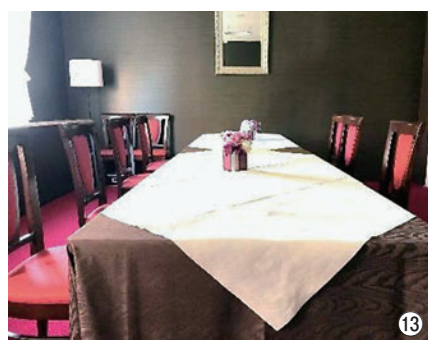
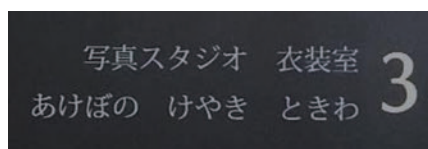
5階の施設利用の連絡先 茗溪会事務局 ☎ 03-3941-0136 ✉ info@meikei.or.jp



4階と3階には6部屋あり、12～90人の収容の幅があり、用途に合わせてご利用できます。4階廊下⑨の右側に「筑波」と「新泉」、左側に「占春」と「紫峰」と「雙峰」の5部屋があり、受付の席⑩もご用意できます。

「筑波」と「新泉」は続間ですが、別間でも、一間でも利用できます。例えば、個々に研修会を開催し、後半は、仕切りを外して会食⑪。着席や立食でも対応可能です⑪。

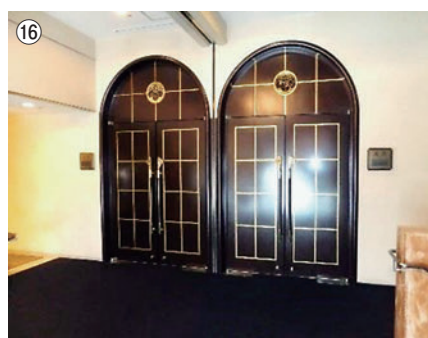
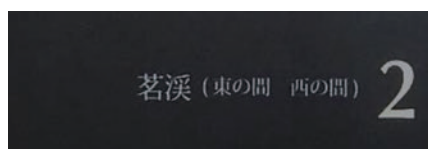
少人数の会合にお勧めの部屋は、4階「占春」「紫峰」「雙峰」⑫、3階「あけぼの」⑬があります。写真館のスタッフがいますので、記念撮影等のご注文を承ります。



階	室名	利用可能数	
		着席	立食
5	桐の葉	10	-
	会議コーナー	10	-
	中会議室	30	40
4	筑波	28	45
	新泉	40	65
	占春	18	25
	紫峰	12	20
3	あけぼの	12	20
	茗溪	100	200

2階は茗溪会自慢の大ホール「茗溪」⑭です。受付⑮右手に重厚な扉⑯があり、落ち着きある空間が広がります。多人数の会議や研修会、講演会、あるいは、発表会や演奏会など、展示会や展覧会もできそうです。

“嘉ノ雅”茗溪館の評判はとてよく、ウェディングの口コミサイトで、都内 No. 1 の評価を得ています。高いレベルの料理とサービスに、十分な満足が得られるはずです。せっかくの機会です。ぜひご利用ください。



2階から4階の部屋ご利用の方は、以下の点にご留意の上、お問合せ下さい。

“嘉ノ雅”茗溪館 KANOBI MEIKEIKAN ☎ 03-5319-1890

- ・ご予約やお問い合わせの際は、「茗溪会員」である旨を、必ずお伝え下さい。
- ・部屋の無料貸し出しは、会食をともなう会合(*)とさせていただきます。
(*)会場での会議等、演奏会や発表会終了後や開始前の会食なども該当します。
- ・無料貸し出しは、2021年3月31日ご利用分まで、とさせていただきます。

“嘉ノ雅”茗溪館が提供する料理については、P.23をご参照ください。

新年のご挨拶



一般社団法人 茗溪会
理事長

江田 昌佑

新年明けましておめでとうございます。

全国会員の皆様のご健勝とご活躍を祈ります。

会員の皆様には、日頃、茗溪会活動にご協力いただき敬意と感謝の念で一杯です。

昨年、突如として猛威を振るい、今なお第3波蔓延の勢を見せる新型コロナウイルス禍や近年の激しい風水害等と対峙して頑張っておられる皆様方に心からの激励とお見舞いを申し上げます。

今年是一年間延期になった東京オリ・パラリンピックの開催があと半年余りに迫っています。

われわれ茗溪会には、本会の運営や諸事業などに厳しい対応が待ち構えています。

新しい年を迎えるに当って、コロナ禍や現在進行中の茗溪創基150年記念事業等に対して、私自身の諸々の思いを述べ決意を表しておきたいと存じます。

歴史を直視すると、丁度100年前、スペイン風邪大流行当時の事情と似ていて参考になります。大正8・9・10年の間に3度の波があったとされます。最大とされる大正9年の新聞には「恐ろしい流感の恐怖時代襲来す」咳一つ出ても外出するななどの記事が見られます。ワクチン是不発でしたが、マスクの着用やうがいなどが国の衛生習慣として、この時に根づいたようです。TVやインターネットのなかった当時、広報にはもっぱらポスター

ーを多用したようです。世界でもわが国でも多くの患者死亡者があったことは周知の事実です

科学技術が発達した現今の新型コロナウイルス感染に関して、公衆衛生の専門家某氏は、ワクチンの進歩を除けば「マスクをする、密集を避ける、患者を隔離する」といった感染症対策の取り組みは変わらない。そして当時の対策は感染拡大のスピードに対して遅れた面があったように、今回は正確な情報を素早く集めて住民に公開することが重要で、今に通じる教訓だ。」と指摘しています。

この時代の一面の社会背景として、茗溪関係の先達の動向を窺い知るのも興味のあるところです。

大正7年に東京高師の大学昇格運動が活発化をみせ、翌大正8年にはいよいよ本格化し、学内では教授の会、学生会、そして茗溪会も一緒になって総決起の気運が高まりました。その昇格運動の中で、学生であった大和資雄さん作詞の宣揚歌が生まれました。

大正9年は、第7回オリリンピック競技会（アントワープ）には嘉納治五郎先生が臨席され、日本代表選手には主将、十種競技として野口源三郎さん（NHK・大河ドラマ・いだてんに登場）が活躍されました。金栗四三さん及び野口源三郎さんなどの手によって創設された第1回箱根駅伝では高師が優勝しています。

大正10年の第5回極東選手権大会（上海）には野口源三郎さんが選手団々長として選手団を率いて国際競技大会に臨んでいます。

大正11年には、嘉納先生は講道館文化会を創立して、**精力善用・自他共栄**の理念を世に発表されました。その翌年、前述した大学昇格案が議会で決定されました。（その後関東大震災のため開学は昭和4年になります。）

大正12年は関東大震災で大きな被害を受けました。我が国の歴史の中で、疫病や自然災害などで受けた惨状は繰り返して立ち直り、社会の安寧を招きました。

目指して立ち直り、社会の安寧を招きました。今、われわれは暗い気持ちに蹲ることなく、専心コロナ禍に立ち向かって闘いながら、次への明るい希望の時代へと繋げるべく、今という時に成すべきことを明確に計画して、それぞれの状況に応じたペースで、前へと走

り続ける必要があります。このことは嘉納先生の説く**「精力善用、自他共栄」**にも通ずるものと考えます。

幸い、われわれ茗溪人には茗溪創基150年記念事業という目標を4年間に亘って計画し、準備・実施してきています。

ここで、もう一度、この記念事業の意義について触れておきます。「われわれ茗溪人は、本会が時代を乗り越えて連綿と活動が続けてきたことに最大の敬意を表すとともに、先達の高邁な思いや誇り高き伝統に思いを馳せ、レガシーを大切に、はたまた、将来に亘り本会の新たな発展を期して、茗溪創基150年の意義ある記念事業を興すことにあります。茗溪の仲間、役立ち、より絆を深める互助の事業として、また、次世代への継承の事業として進めるものです。この事業は茗溪会あげての行事であります。本会々員ごぞつて自ら力を結集する必要があります。総意を練りあげていく中で、情熱と誠実さ、そして共助の精神が源泉となりましょう。この在り方こそが茗溪会の絶大な遺産の価値を更に将来に向けて高める機会になると信じます。」（茗溪 No.1100号）

とにかくコロナ禍で意気消沈になりがちな日常を撥ね除けて、成すべきことを可能なペースで走り続けることの何かを自問すれば：われわれ茗溪人には記念事業が待っています。

コロナ禍で難事になっている本会運営行事や記念事業等は修正等を加えながらも遂行の責があります。記念事業のコンセプトは茗溪文化の「伝承と創造」です。茗溪のレガシーをおろそかにすることは歴史が許さないと考えます。この事業の過程は未来への途です。将来を創る道程であります。更に加えれば茗溪会中興を目指すものなのです。

嘉納先生は**「盡己瘞成」**の言葉を残されています。成するまで努力し続けるの意です。新しい年に際して、先生の言葉を体して、私自身叱咤激励の気概に溢れているところです。

最後になりますが、全国茗溪会々員の皆様に対し、本会の益々の発展のために、ご鞭撻ご協力を切望して、ご挨拶いたします。

年頭挨拶



筑波大学長

永田 恭介

明けましておめでとうございます。

旧年中は、茗溪会の皆様には様々なご支援をいただき誠にありがとうございました。

今年の年頭のご挨拶は新型コロナウイルス感染症に関する話から始めさせていただきます。

一昨年の秋頃に中国湖北省武漢市から始まった新型コロナウイルス感染症は、昨年春先までには世界的な大流行となっていました。日本でも昨年1月下旬の豪華客船での発症確認を皮切りに感染は急拡大し、現在までに、感染者は20万人を超え、死者数は2800人を超えています(2020年12月24日現在)。感染拡大の初期の段階では、世界の多くの都市ではロックダウンなどによる強硬な感染拡大防止策が採られましたが、経済の落ち込みが著しいため継続出来ず、それは解除され感染は終息に至っていません。現在では多くの国で、医療崩壊を起こさない程度の感染拡大を容認するような緩やかな防止策が採られており、感染防御は人々の自主的な行動規制に委ねられています。

筑波大学では、1月29日に、新型コロナウイルス感染症リスク対応チームを発足させ、即座に新型コロナウイルスに関連した本学の授業等の対応、感染症リスク対応のための渡航の制限、課外活動における感染拡大防止対

応、在宅勤務の可能性などについての準備を開始しました。卒業式は各学群、研究科の総代だけの出席・入学式は中止・キャンパスへは4月初旬から入構制限・4月17日の緊急事態宣言対象地域の全国拡大・同27日からは、春学期オンライン授業開始。5月8日には学生のアルバイトの停止、ご家族の困窮などによる経済的な困窮に鑑みて、本学独自に学生の経済支援を行うことを決め、学生のための緊急支援金のための寄付活動を開始しました。貴会の同窓生諸氏からも浄財をご寄付いただきましたこと、深く感謝申し上げます。

5月25日に全国で緊急事態宣言の解除・8月7日には秋学期における対面授業及びオンライン授業の実施に関する指針発表。キャンパスは徐々に平常状態への回帰を目指して動き始めました。その後も、現在に至るまで、各自の感染防御行動と他者への感染拡大防御行動を基盤として、平常化に向けて努力が続いています。

コロナウイルスパンデミックに伴い、大学は様々な新たな体験をしました。その一つは、真の意味でグローバル化が進んでいることを実感したことです。新たな感染症が驚異的なスピードで世界中に広がり、感染症には国や地域あるいは個々のコミュニティの間の境界がないことを改めて確認しました。この感染症はグローバルレベルで経済を下方に向かわせてしまい、市井ではSNSの風評に煽られてトイレットペーパーまでがなくなってしまうしました。さらに世界秩序を変容させ、世界を混乱させ、その行方も不確実なものとしてしまいました。まさにVUCAの時代を実感させられています。様々な世界規模の課題について、この感染症の拡大を契機に自分事として考え直す必要があります。

もう一つは、デジタルサイエンスの力を実感したことです。このコロナ禍において、大学はデジタルトランスフォーメーションの価値を、オンライン授業や会議、およびリモート業務などを通じて経験しました。その有用性と可能性を理解するとともに、問題点にも気づくことになりました。オンライン授業によって、学生や教員は、地理的、空間的、時間的制約から解放されることに気付

きました。一方で、これまで疑いもなく行われてきた対面授業の重要性も明らかとなりました。対面授業は、実習・実験など体験型の授業科目になくしてはならないものであり、友達や教員などとの関わりの中での学修やキャンパスというコミュニティでの活動により、社会での活動の基盤である人間関係などを体験的に学ぶことができることを確信しました。ポストコロナの新しい日常(Normal)では、オンラインと対面両者のメリットを活かした大学の活動の道を探っていかなければなりません。

コロナ禍の中ですが、嬉しいニュースを一つお伝えいたします。本学は、昨年10月に、第4期中期目標期間から指定国立大学法人となることを文部科学大臣より指定いただきました。指定国立大学法人は、世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる国立大学法人を文部科学大臣が指定するものです。これまでに5つの総合大学(東京、京都、東北、大阪、名古屋)と2つの単科系大学(東京工業、一橋)が指定を受けていました。本学は、前回(平成28年度)公募の際は申請の前提条件の一部を満たしていなかったため応募を断念しましたが、今回晴れて、東京医科歯科大学とともに指定を受けました。総合大学としては6番目となります。このことは、長年の先輩諸氏の弛まぬご努力とそれにより挙げられた数々の成果の上に獲得したものであり、教職員、学生一同感謝の念にたえません。

コロナ禍にあっても、学生、教職員は持てる力を大いに発揮していることと決意しています。今年の夏には、二度目の東京オリンピック・パラリンピックが必ず開催されると信じています。そこでの本学教職員・学生、OB OGの活躍も楽しみです。本学は激動するグローバル社会の中で、研究力をもって課題解決に貢献するとともに、それを継承し、発展・牽引する人材の育成に邁進してまいります。伝統ある貴会と同窓生諸兄には、ますますのご発展を祈念申し上げますとともに、本学の様々な活動にご理解をいただき、本年も引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

茗溪創基150年

明治5年
～令和4年

記念誌編纂のこと

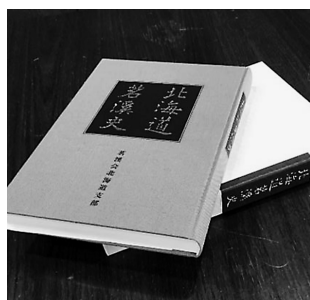
茗溪創基150年記念誌の編纂

記念事業のテーマとして、「伝承と創造」その実現を目指して」が掲げられています。

『茗溪創基150年記念誌』の編纂は、諸先輩の業績を辿ること、茗溪の流れを見定め、茗溪創基150年を迎えんとする茗溪人としてなにをなすべきか、このことを改めて考えるための道標を提供する作業ともいえます。

『茗溪会百年史』が刊行されたのは昭和57年でした。右の欄に紹介する通り、大著といえるものでした。

その13年後の平成7年に、『北海道茗溪史』が刊行されています。



『北海道茗溪史』

B5サイズ 397頁

発行 平成7年9月9日

編集委員会

真田 清臣 対馬 富喜

林 雄一郎 本間末五郎

松本 光 山本 良久

刊行委員会

武田 哲 (以下10名)



茗溪会佐賀県支部

佐賀県支部は、『茗溪会百年史』で、「年ごとに増えていく有能な新人を加えて、昭和56年12月現在150名となり、脈々と繁栄の途上にある」と結んでいました。

佐賀県支部は、この「最後の一行」を、平成、令和へと継承すべく、茗溪創基150年を節目に、「支部旗」をつくるということです。



『茗溪会百年史』

A5サイズ1148頁

編集委員会

芳賀幸四郎 恵

長浜 輝雄 三郎

土肥 善三郎 博雄

新村 善三郎 博雄

葭内 善三郎 博雄

鈴木 博雄

このように、各地域では、様々な形で、「伝承と創造」が進められ、受け継ぎと引き継ぎの努力がされています。各地域で試みられた実績、その過程で見出された課題、その解決に向けての工夫や努力、そして今後の期待を記すことは、その意味で、極めて重要な作業にも思えます。

『茗溪創基150年記念誌』編纂は、このような意義や使命を担うための事業です。

真田久編纂委員（本部理事、筑波大学教授）を中心に、編纂事業が進められ、装丁や目次等の概略が定まり、執筆作業に入っています。

第五章「支部（地域組織等）の歩み」につきましては、各地域からお預かりした原稿の初校を終え、各地域の担当の方々より取りをしながら、第二校に入っています。

第五章の構成は以下の通りです。

- 1 組織としての歩み
- 2 発展に尽くした人々（平成における会員の活動）
- 3 これからの歩み（将来への期待）
- 4 現役員のリスト
- 5 その他（特記事項等）

それぞれの執筆について特段の指定はせず、各地域につきましては、その書きぶりを参考に連続性を保持していただければと考え、『茗溪会百年史』に記された該当部分を送付し、ご執筆を進めていただきました。

お預かりした原稿を拝見して感じたことは、各地域の独自性が文面に見事に表れていること。一方で、共通の課題を抱えており、その打開に向けて努力していること、しかもきわめて前向きであるということでした。

その意味で、記念事業のテーマである「伝承と創造」が満足のいく形で文章に表れているとも感じました。

「組織としての歩み」と「発展に尽くした人々」に記されている注目すべき事柄や貴重な逸話は、記念誌の発行を待たずして是非とも目にしておきたいものです。

お預かりした文章を一部割愛して、紹介させていただきます。ご容赦ください。

「発展に尽くした人々」にみる茗溪人

◆「茗溪魂」と眩かれて

平成23年3月11日、東日本に未曾有の大震災が発生しました。歴史上、宮城県は過去に二度程、大津波を経験しています。869年の貞観大津波、1611年の慶長大津波がそれであります。

この私、丁度その時、宮城支部長を引き受けていた真最中の出来事でした。…4月になって、沿岸地域の会員の被災状況が明らかになって、直ちに宮城支部の幹事会を招集して、義援金を柱とする援助態勢を確立するに至った訳です。…

ガンガン暑い8月の真昼、石巻の年配の会員宅を訪問しました。見ればその御宅、床上浸水の跡、生々しく、わずかに玄関だけが新しい板張りが敷かれていました。その会員に対し、私の自己紹介と来意を告げた途端、大先輩にあたるその会員は直ちに板敷に正座なされ、背筋をピンと伸ばして私の話を聞こうとしてくれました。

私は立っている訳にもいかず、蹲踞、折敷をしてお見舞いを申し上げ、封筒を手渡し、互いに深々と礼をして、事は感動的に終えました。

後日、11月末、宮城支部総会の席上、この場面のことを報告、説明した時、或る大先輩は、「ほう、茗溪魂だな」と眩れました。この時「茗溪魂」という単語（ことば）を初めて知ることが出来ました。

茗溪会宮城支部 河岸敏郎（S49教大武道）

◆教育者の資質

中村章太郎（S16文二・S19大漢）は昭和54～56年度の奈良県教育長を務められた。支部長時代は「茗溪会奈良支部 筑波大学卒業生の会」を開催し、筑波大学卒業生の参加を働きかけた。

その集まりにおいて、「35歳までに教え子に影響を与えられない教師は教育者として失格である」と言われた。その厳しいお言葉は我々後輩の胸に強く刻まれることとなった。

晩年は目を悪くされたが、私費でコピー機を購入し、新聞を拡大して読まれるなど知への意欲は衰えることはなかった。

奈良茗溪会 井上徳之（S58筑大自然）

◆茗溪の三剣士

この頃（昭和44年、県立秋田北高等学校へ異動した頃）お会いした忘れ得ぬ三先輩がいる。昭和18年、東京高師体育科第三部（剣道）卒の奥山京助、岩谷文雄、吉井忠亮各先輩である。この年の体育科第三部の全卒業生9名中、秋田県出身者が3名まで占めていたことに驚く。

川反の居酒屋の止まり木で歓談する奥山・岩谷二両所から、凛々しい立ち姿の同期伊保清次が在学中に全日本選手権で大活躍したなど往時の懐旧談を伺った。興に乗った二両所の吟ずる七寮節が今も鮮明に残る。

～月の七日はお薬師詣りヨイヨイ

お薬師詣りにそなたを見初めエートエート

あらやこらやとせ。…

両肘に交互に手を添える所作までも披露された。…とまれ、この三先輩を源流とする茗溪剣道の潮流は、伊藤碩士（S40教大体育）、目黒大作（S43教大健康）、渡邊明（S48教大武道）、加賀谷宗篤（S52教大武道）、木浪恒二（S58筑大体育）、現支部長保坂文明（S59筑大体育）各剣士によって脈々と受け継がれている。

あきた茗溪会 小島貞明（S32教大農経）

茗溪会は長く財団法人として歴史を歩み、現在も、その公益性を保持し続けていることは、異論のないことだと思います。茗溪会の公益性の第一は「茗溪人としての生き方と在り方」の伝承にあり、そうした人材の育成こそが、茗溪会の由って来たるところかと思えます。

◆茗溪会に生きた茗溪人

茗溪会に対する清水進一（S43教大数学）の基本的な考え方は明快で、「同窓会の活動は、同じ水で育った縁を大切に年齢の違いを抜きにして交流していくもの」という。それは信条ともいえるもので、「茗溪の水で育った者ならば、一つでも年長であれば、先輩として疑いもなく敬いますし、ひとつ下でも50歳下の筑波大生でも可愛い後輩であり、やみくもに面倒をみたり支援したくなってしまう」（『茗溪かながわ』）という言葉に表れている。

その根底には、茗溪人との出会いがある。神奈川茗溪会主催の講演会（演題「茗溪と私」）で、以下の体験から

話し始めている。「私は昭和20年7月の生まれ、まさに敗戦後の70年余りを生きてきました。この間、何度か人生の節目という時があり、またその時々茗溪関係者の方々との出会いがありました。私は数学が大嫌いだだったので、高校に入って茗溪出身の先生と出会って大好きになり、大学は教育大に行くしかないと考えようになりました。」（『茗溪かながわ』）

数学科の後輩で職場を共にした大畑多津雄（S52教大数学、現神奈川茗溪会会長）は、清水の叙勲を祝う会での逸話を紹介している。「叙勲を祝う会は先輩が亡くなりになる3か月前のことでした。叙勲に際しての先輩のお話は、出だしは声もかすれていて本当に苦しうでしたが、話が進むにつれ教師魂に火がついて、病気を患っているのがウソのように、実に活き活きと力のある声で話し通されました。後で聞いた話ですが、自宅へ戻った後、あまりのお疲れで、しばらく横になっていたとのこと。どういふ状況にあっても決して手を抜かず、その場その場を全力で取り組む先輩の姿勢をつくづく感じさせられました。」（『茗溪かながわ』）

人生の節目における茗溪人との出会いを恩恵と感じていたこと。仕事ぶりは念入りにして簡潔であり気配りが行き届いていること。そして、いかなる状況下でも決して手を抜かず、その場その場を全力で取り組むこと。まさに茗溪を所作として生き抜いた茗溪人であった。

神奈川茗溪会 矢野正人（S53教修農学）

◆先輩は綺羅星のごとく

昭和29年、教育を志すならこの大学と勧められて、東京教育大学に入学できた。…3月末「寿し市」の歓迎コンパに列席された先輩達の顔ぶれに圧倒された。高校教育界や教育系大学で活躍される先生方やそれを目指す先輩達が、新入生の私には、綺羅星のごとく居並んで見えたのであった。その末席に座せることのできた幸に胸の高鳴りを覚えたのを懐かしく思い出す。

茗溪会埼玉支部 荒井 桂（S33教大東史）

茗溪人が持つ先輩への思いは、ある種、独特のもので、「畏敬」という表現がふさわしいと思います。その根底には「茗溪人としての矜持」があり、それは我々同窓の生き方や在り方に影響を与え続けてきたもので、これこそ、

師範学校以来、幾多の改編を乗り越え、脈々と受け継がれてきたものではないでしょうか。

◆茗溪会と中国留学生

昭和49年、国慶節会場北京人民大会堂に、周恩来首相に続き鄧小平氏が入場すると、中国人出席者は総立ち感激し涙を流した。中国がこの時舵を大きく切ったということに、この時の私には気づく由もなかった。

翌日の夕食後突然、対日関係の高官張香山氏より招請があり、中南海の執務室で、長時間親しく歓談した。

自身が東京高等師範学校に学んだこと、一方、周恩来首相は日本入国が遅れ日本語習得の時間がなく、東京高等師範学校に学べなかったことなど、懐かしむように、時々通訳の不足部分を流暢な日本語で訂正しながら説明された。

私が東京教育大の卒業生であることもご存じで、現在の大学の場所や建物などを説明すると、大学が大きく変化したことに驚いておられた。卒業生の組織である茗溪会の話に及ぶと、張香山氏は時間が許せば自国でも立ち上げたいと、いかにも残念そうであった。

中華人民共和国建国に関わった偉人たちが、最初に日本の教育に注目し、その学舎として茗溪会の礎であった東京師範学校を選んだことに、私は感慨ひとしおだった。：文化大革命の最中だったが、この時から中国は大きく政治、経済の舵を切り替え、その後曲折を経て、いまや中国は灼熱の太陽となって輝いている。

あきた茗溪会 西村伸平（S47教修農学）

◆桐の葉は残った

令和になって最初の「石川茗溪会」が開催された。：宴が始まり近況報告に移ると何人もの出席者から「嬉しくて箱根駅伝を応援に行ってきた」「20チーム中20位だったググズ（襷やタオル等）の売れ行きが優勝の青学と肩を並べる程で、すぐ品切れになった」「沿道の筑波大ファンの数が凄かった」等の話題で大いに盛り上がり楽しい酒宴となった。東京高師から受け継がれて来た「桐の葉」に対する思いの強さを改めて痛感した。

私が大学4年生になった年に筑波大学が開校した。当時、多くの部がその継承をどうしようかと悩み探めてい

た。私の所属していた陸上競技部も同様であった。どんな形で継承しようか、それとも東京教育大学陸上部として終止符を打つか、部員同士で毎日遅くまで話し合いを持ち、最後は投票で筑波大学へ受け継いで行こうという結論に達した。

その前年のNHK大河ドラマは、伊達藩の原田甲斐を題材にした「樅の木は残った」であった。

東京高師から受け継がれた伝統が筑波大学へ受け継がれた話を新聞や週刊誌はタイトルに擬えて「桐の葉は残った」と、見出しで大きく取り上げた。

「残った桐の葉」は次の時代へと確実に受け継がれてゆくことを、嬉しく思っている。

石川茗溪会 松本 彰（S50教大体育）

◆会報『むすしの』の発行

埼玉支部会報『むすしの』は昭和50年に発刊した。

当時、茗溪会の求心力が低減し、会合への出席状況等も憂慮すべき状況に直面していた。その状況を脱却するため、茗溪会という大木の隅々に情報を伝達する機能が是非とも必要であるとの認識に立ち、会報発刊に至ったものである。：創刊号の編集後記には次のように記されている。

「武蔵野に点在する職場をつなぎ会員が心温まる思いで明日への活力源として読んでいただければ幸いです。同窓会というものの性格や在り方については種々の考え方もあるでしょう。母校を巣立ってからそれぞれの年輪を経ていますが、大塚の台地はどう変容しようとしているのでしょうか。筑波には新しい学園づくりが進んでいます。今後ますます縦横のつながりを密にして当面する課題に対処していこうではありませんか。」（岡安志朗）

茗溪会埼玉支部 青木勇藤（S55筑大人文）



宣揚歌「桐の葉」（石川県支部）

茗溪の歴史は、順風満帆とはいえず、むしろ、茗溪の矜持が結束を促し、困難を乗り越えてきたとも思えます。これから紹介するように、各地域組織は工夫を凝らし努力を重ねています。地域同士が手を携えることや様々な工夫を交換し合うことが必要かもしれませんし、本部と地域組織との連携協力も必要となることでしょう。茗溪創基150年を機に、地域組織の歩みを検証し、課題解決への道筋を探れたらと思います。

「組織としての歩み」に見る独自性と工夫

1 様々な会合

各地域は、総会を概ね夏場に開催しています。5月開催の本部総会に参加した代議員が報告する場を設けるために開催する。このような事情かと思われま

す。ここでは、各地域が総会以外に開催している会合を紹介し

(1) 新年会（1月開催）と忘年会（12月開催）

◆栃木県支部、徳島県茗溪会、熊本県支部、そして、新潟茗溪会長岡・魚沼支部は「新年会」、北海道茗溪会は「新年懇親会」。青森支部は、懇親会（忘年会）を開いている。

◆新年会や忘年会では、研修会や講演会を兼ねることが多く、北海道茗溪会は、教育講演会と研修会を隔年に実施し、徳島県茗溪会は「同窓談話」、熊本県支部は「講話会」を開催している。

(2) 教育研修会・教科会

◆研修組織は、千葉茗溪会の青桐会（中堅教員の会）占春会（教頭選考受験者を中心に夏季休業中に開催）、神奈川茗溪会の新泉組（新入教員の研修会）がある。◆茨城茗溪会では、数学、理科、地歴公民、体育など教科を中心とした研修会や「義務教育の集い」がある。静岡県支部でも「茗数会」など教科研修会が開かれている。

◆愛知支部には、「一厘の会」（茗溪会地理歴史科・公

民科研修会)、「茗溪会理科・農理科の会」、「愛語会」(茗溪会国語科・英語科研修会)、「茗数会」(数学科)、「茗友会・茗友会若手の会」(茗溪会保健体育科研修会)がある。

◆新潟茗溪会は、管理職研修会(10月)、教員採用試験研修会(2月)、新春教育懇談会(2月)など、教育研修を推進している。

(3) 学科・部活の会

体育系卒業生の集いは、「茗体会」をはじめ、部活動の同窓会など、全国的な広がりをもつて開催されています。

◆山形県支部の「茗朋会」、神奈川県茗溪会の「桐心会」、熊本県支部、静岡県支部、愛知支部、大阪茗溪会、兵庫支部の「茗友会」、富山県支部では、「茗溪体育部会」が会合している。

◆愛知支部は「愛知茗柏会(柔道部OB会)」、「筑波大学バスケットボール部OB・OG会」、「愛知茗球会」(硬式野球部OB会)を紹介しているが、他の地域でも多くの部活動の同窓会が開かれていることと思う。

◆岐阜茗溪会は、体育学部(筑波大学体育専門学群)卒業者の懇親会を開催している。

(4) 若手の交流会

各地域組織共通の悩みとして、若年層の加入や参加率の低さがあるようで、そうした実情を打破すべく、若手の交流を進めている地域組織もあります。



茗朋会(令和元年 山形県支部)

◆福岡支部の「若手の会」、そして、神奈川県茗溪会の「若手の会」は「神奈川産業人倶楽部」と「新泉組」(新人教員の会)との合同開催(若手交流会)へと発展させている。愛知支部は「茗友会若手の会」(保健体育科教員の会)。

◆筑波大学卒業生による、愛知支部の「筑波大学卒業生の会」や愛媛茗溪会の「愛媛つくばの会」がある。



第1回「若手の会」(平成24年 神奈川茗溪会)

(5) 教育管理職の交流

◆茨城茗溪会「有志会」大阪茗溪会「如月会」神奈川県茗溪会「12月会」愛知支部「天久保倶楽部(教頭研修会)」がある。

◆静岡茗溪会「茗長会」千葉茗溪会は「茗長会」と「茗頭会」合同で、年2回開催している。

(6) 地区や職域の会合

各地域の地理の特性に合わせて、複数の地区に分かれ、地区ごとに会合を重ねている組織もあります。

◆山形県支部は、地区総会(庄内地区では酒田・鶴岡で隔年実施。最北地区では新庄市を中心に)を開催。福島県支部では、五方部(県北・県南・会津・いわき・相双)の情報交換会を定期的に開催していたが、東日本大震災により休止を余儀なくされ、徐々に再開を目指しているところである。

◆愛知支部は、茗溪会尾西西北地区、茗溪会西三河地区、名古屋市立茗溪会、東三茗溪会、茗溪会名古屋地区・尾東地区、知多茗溪会といった地区がそれぞれ会合

を持ち、相互の交流会が開催されている。

◆鳥取県茗溪会も東西に長い事情があり、総会のほかに、県西部地区懇親会(米子市)が開催されている。

◆群馬県支部では、東毛地区茗溪会がある。また、職域組織として県庁茗溪会が組織されている。

◆富山県支部では、高岡支部の会合があり、富山県職員茗溪会が組織され、熊本県支部でも、県庁茗溪会が組織されている。

◆茨城茗溪会には、県庁、各事業所にそれぞれ分かれている県内支部の集いがある。

◆神奈川県茗溪会は、県内五地区のほかに、県央の愛甲郡・厚木市・海老名市の同窓の集まりとして「愛厚海」を開催している。

(7) ゴルフコンペの開催

◆神奈川県茗溪会は、教員だけでなく民間や行政の同窓が交流できる機会としてゴルフコンペを開催している。茨城茗溪会や佐賀県支部も同様の意図で開催しているようにも思える。



ゴルフコンペ(平成20年 佐賀県支部)

今回は、各地域からいただいた原稿をもとに紹介させていただいていますが、他の地域でも、そういった組織、研修会を始めとする会合は多くあると想像できます。漏れない紹介ではないことを、ご容赦下さい。

現在、「ピアガーデン(Peer Garden)」で各地域や同窓の組織、事業や会合を紹介しています。

組織や会合の情報がございましたら、下記にお寄せください。☐ peer@meikei.or.jp

お寄せいただいた情報を集録させていただき、ある程度まとまりましたら、一覧にして公開させていただきます。

2 会合の課題と工夫

(1) 会員把握と案内の方法

「県内に在住している会員の把握が大きな課題となっている。とくに、新規会員の把握は非常に困難な状況であり、今後支部組織を維持していくことが大変難しい時代になるとされる」(山形支部)という課題認識は、各地域共通の課題となっているようです。

◆石川茗溪会は、「全員の住所や近況を掴めていない。毎年の出入り(入学生や卒業生等を含めて)する会員の把握がしつかりできないためである。」「石川茗溪会」の活動状況や「総会・懇親会」の案内が送れるのは五割程度に留まり、出席は一割程度の三十人前後になっているのが現状である」と詳細に記している。

◆大阪茗溪会も、「個人情報保護の必要性から支部名簿発行が平成23年度を最後に取りやめになった。そのため、会員相互の連絡を取ることが難しくなっている。特に新卒者の情報が得られず、今後の活動の問題点である」と危機感を募らせている。

会員把握の課題は、筑波大学の学生や卒業生への働きかけともいえます。その意味で、「在学生に対する働きかけを本部・支部が一体となつて強化していけないか」(福島県支部)という問いかけは、喫緊の課題として受け止めるべきではないかと思えます。

会員把握は、同時に、会員拡大にも通じます。

地域組織の存在を広く知ってもらい、参加の機会をつくる努力も散見されます。その試みのひとつとして、あきた茗溪会は、往復葉書による開催通知や近況報告だけではなく、SNSによる情報発信により同窓会の輪を広げていくことも検討している。山形県支部も、SNSによる情報発信等にも力を入れていければと考えています。

(2) 参加者への配慮

若い世代の参加を促す試みは、すでに紹介したように「若手の会」「筑波大学卒業生の会」などがありますが、もう一歩進めて、若い世代が地域総会等に参加しやすい環境をつくる工夫もあります。

◆岐阜茗溪会は、「数年前から、初めての参加者には懇親会費の一部を免除することとする取組を始めた。若手の参加が少しずつ増え、また、女性の参加者も増えてきている」と報告している。茨城茗溪会は、新卒者を無料招待としているが、岐阜茗溪会や茨城茗溪会と同様の工夫をしている地域は多いと思われる。また、参加者への配慮として、「業種を超えた年代別のテーブル配置(茨城茗溪会)」という工夫もある。

(3) 地域組織における運営の工夫

◆事務局が、現役世代であり、仕事、授業、部活指導などで忙しいため、平成31年から、早期退職した会員が事務局の補佐を買って出ている」(あきた茗溪会)ように、先輩が後輩を手助けする対応がある一方で、「事務局体制も年配者ではなく、若手に変更するなど、思い切った「改革」が必要な時期かもしれない」(徳島県茗溪会)など、地域組織の運営には事務局の役割が重要だという認識があるようです。いづれにしろ、「持続可能な事務局組織を再構築したい」(岡山県茗溪会)というのが共通の思いでしょう。

(4) 地域(支部)の組織改革

「持続可能な事務局の再構築」は、熊本県支部のように、組織や運営の変革を伴うかもしれない。に、「複数の幹事団で運営していた熊本県支部を、理事若干名と事務局として組織化し、事務局(事務局長、庶務、会計)を熊本大学内に置き、会の充実・安定化を図った」(熊本県支部)

◆鳥取県茗溪会は、「東西に長い」地理上の事情で、「役員が県内会員との日常的な接触が少ない」という現状把握をもとに、「平成5年から副会長を四名に増やし、東・中・西部各地域の副会長にお願いし、少しでも多くの会員に参加を呼びかける」努力を進めている。

◆福井県支部は、県内組織にブロック制を導入し、運営の変革を試みている。その結果、「ブロック輪番制が根付きだし、県内各方面で総会が開催されること

で、地域での会員同士の交流が活性化され、総会への参加人数も増加した。ブロック輪番制の効果か、近年は教育関係者以外の方が、総会に参加されるケースが増えてきた」という成果を報告している。

◆神奈川茗溪会は、会則改定により、副会長の役割と分担を以下のように明確にしている。

- ・会長代行 会長を代行し、他の副会長を統括
- ・行政担当 官公庁、公的機関等の同窓の把握
- ・学校担当 大学、小中高等の同窓の把握
- ・企業担当 企業、法政、医療等の同窓の把握
- ・地区担当 五地区の地区委員を統括
- また、事務局を組織的に位置づけ、
- ・事務局長、
- ・庶務係(総会事務担当、広報記録担当)、
- ・会計係(会費管理担当、名簿管理担当)
- 計16名の陣容で運営し、最近、事務局経験者が会長や副会長、あるいは代議員や顧問となっている。

茗溪会の組織的・将来的課題

「令和元年度の県支部総会に筑波大学卒業2名で福岡市に弁護士事務所を開設している会員が参加していた。これは今までになかったことと記憶している」。

福岡茗溪会の感想です。茗溪会が「教員だけの会」という印象のまま運営されてきたことを「半ば必然的ともいえるべき組織的・将来的課題」(埼玉支部)として認識し、事態を打開しようとする動きが始まっています。

1 教職者の減少と茗溪会

(1) 教職者減少の実感

◆「振り返れば、「昭和」の終わり頃の都立高校の管理職は校長だけで150名近くを数え、都立高校200余校の実に75%を占めていた。ところが、それから30年経った現在、現職の校長は10名程度(全体の5%)まで減少した」という東京茗溪会の記事は、「近年、筑波大学卒業生が教員になる割合も少なくなり、本県もその例外では無い」(福井県支部)というように、他の地域でも共通の実感と思われる。

(2) 教職者の減少と地域組織への影響

◆「かつて本県高等学校の校長・教頭は茗溪で3分の2を占めたと言われた時代から、現在はそれぞれの人数は、一桁台にまで減少している」と、新潟茗溪会もその実感を数字に表しているが、その事態は当然のことながら地域組織を窮地に追い込むこととなる。

◆「筑波大学卒業者が大勢を占める状況の中、教員となっている者が減少し、組織全体の活性化が難しい状況にある。」(岐阜茗溪会)

◆「教員主体であった茗溪会総会、各種研修会への出席者数は年毎に減るとともに会費収入も減少し、年2回であった会報の発行も年1回になるなど影響が出てきている。」(新潟茗溪会)

このことは早くから予想され、警鐘が鳴らされていた昭和61年、埼玉支部の黒木幹事長は、以下の警鐘を鳴らしていた。「十年先の茗溪会を予測し、現状を顧みると、自ら暗澹たる気持ちにならざるを得ない。最近の筑波大学卒業生中、毎年教育界に身を投ずる者の比率が急減しており、業界が約700、教育界が約300名で、官界が約100名といった割合なのである。…会員の多数が承知しているように、本会の組織が高校教員中心で、極論すれば業官界在籍者は名簿に掲載されているだけといった実情である。このままでいくと、十年後は会員の掌握、会費の徴収さえ困難となり、茗溪会の存続の危機が目前に迫っているといっても過言ではない。」(会報『むさしの』)

その8年後の会報『むさしの』で、荒井埼玉支部長は、「茗溪会は教員だけの会ではございません。東京高師から筑波大に至る卒業生のすべてで組織されています。宣揚歌(桐の葉)にあるように、今や一つの流れ―「茗溪の水」は筑波のもとに新泉となって溢れ出ています。教育界以外の分野に進出されておられる多くの卒業生とも手を携えながら、強力な茗溪会の育成に協力くださいますようお願い致します」と記している。

(3) 新たな会員構成を課題とする

各地域からいただいた原稿にも同様の意見が述べられています。

◆「今後は教員以外の職に就く会員が多くなることは自明である。従って、会の目的を教員間の交流のみにとどめず、幅広い分野での交流を推し進める必要があると思われる。」(岩手支部)

◆県立学校教員関係者を中心とした本県支部を、民間企業や官公庁など様々な分野で活躍されている方々に広く参加いただける組織に変革し、異業種交流も進めながら新たな価値創造や発想転換の機会としていくことが、持続可能な組織にしていける上で大切ではないかと思う。(福島県支部)

◆教育界に留まらず、他分野で活躍する人材や幅広い年代が集う会となることを期待する。(静岡県支部)

◆現在、会員の多くは、主に東京教育大学卒業生と教員志望が多かった初期の筑波大学卒業生であり大半が学校教育に携わっていることから、支部の運営をはじめとし総会等の参加者は学校関係者が大部分を占めている。今後は、民間企業等に勤務している会員にも茗溪会への参加を促すようなネットワークを構築していきたい。(愛知支部)

◆支部の活動は、教育関係者を中心に行われているが、今後は、産業人の積極的な参加がなくては支部の発展はあり得ないと考えている。そのために、新たな組織づくりが必要不可欠であり、近畿ブロックの他府県と連携しながら、兵庫県内居住者や勤務者の掘り起こしを進めていきたい。(兵庫支部)

◆三重茗溪会は、「この課題については、今後、総会等に來ていただく本部からの理事については、教員以外で活躍されてみえる方を招くなど、茗溪会本部の豊富な人材を活用させていただきながら、教員以外の職種の同窓生の方々にも参加しやすい雰囲気づくりに努めたい」と提言している。

現在、茗溪会本部理事24名は、教職関係16名(大学7名、高校9名)、官公庁・企業等8名で構成され、東京教育大学卒業・修了者が8名、筑波大学卒業・修了者が16名となっています。

「筑波大卒業生が会員のほとんどを占めるようになり、平成26年に初めて筑波大卒の会長が就任した」と大分県茗溪会の報告にもあるように、茗溪会本部においても、理事は筑波大卒が多数を占め、官公庁・企業関係者も今後増えることと思います。

(4) 新たな会員構成に向けて努力する

◆「(筑波大学が)総合大学となったことから、教育関係以外でも各界で活躍する会員が増え、大分県庁や大分銀行など多くの会員が在籍する職場もできている。」(大分県茗溪会)

◆「近年、筑波大学発足以降は、県庁をはじめ公務員や民間企業にも多く就職しており、さすが筑波大学と唸るような多彩な人材が熊本にも根付き始めている。」(熊本県支部)

◆「これからの時代に向けて、やはり昔の高校教員だけの組織では組織力の低下は免れない。異業種交流という観点で、今後組織の活性化や方向性を求めていく必要がある。」(徳島県茗溪会)

地域に教職以外の同窓がいることがわかっているが、地域組織に参加させる機会を探しあぐねているというのが実情かと思えます。その機会提供の試みのひとつとして、徳島県茗溪会や千葉茗溪会が進める「異業種交流」は、地元産業従事者の掘り起こしという視点で、参考になるかもしれません。

徳島茗溪会や千葉茗溪会は、新年会等を企画し、異業種交流を進め、その結果、以下の成果を上げています。

◆「筑波大学卒業生が多くなるにつれ、県庁等の公務員や大塚製薬・日亜化学工業をはじめとする徳島県を代表する各企業の方々等の占める割合が増加してきた。このようななか、総会や新年会参加者も現在では逆転しつつある。」(徳島県茗溪会)

◆「平成30年度からは、支部総会にも千葉銀行関係者も参加し、柏市長も同窓ということで講演をお願いするなど、産業界、企業関係者並びに官公庁関係者の参加を得ることができてきている。今後は、さらに県内の企業関係者とのネットワークをさらに拡大し、会員拡大に努めていきたいところである。」(千葉茗溪会)

2 異業種交流を展開する

(1) 産業人の集い

教職者が減少する一方で、「産業界では様々な分野で活躍する卒業生が増え、起業家や大企業の取締役など経



OB・OGキャリアカフェ(2019.10.16)

茗溪会本部が茗溪創基150年記念事業のグランドテーマ「伝承と創造」を掲げ、産官学の大同団結を目指す事業として「茗溪・筑波産業人倶楽部」を立ち上げたのは、平成30年7月のことでした。以来、若手を中心となつて様々な試みを行っています。

「OB・OGキャリアカフェ」は、大学と茗溪会の共催で、同窓の先輩が在学の後輩に、キャリア形成のアドバイス等をする場の提供として企画実施されました。

「意見交流会」は、産官学の各界で活躍する同窓の交流を広げる目的で開催されています。参加者は、産業界ばかりでなく、教育界や官界の同窓など多士済々です。

「OB・OGキャリアカフェ」と「意見交流会」という二種類の場合は、縦や横の連携を主眼としな

(2) 茗溪・筑波産業人倶楽部

営者として手腕を発揮する卒業生も出てきた」（東京茗溪会）

◆こうした状況下で、「平成27年から「茗溪・筑波大学産業人会」という名称で産業界や官界で活躍する卒業生の異業種交流の場をスタートさせ、卒業生によるそれぞれの専門分野の話題提供の後、アルコールも交えた参加者相互の交流会で：毎月第三水曜日の午後7時から茗溪会館で開催されている。気軽に誰でも参加できることから、参加者も多く、50名を超える時もある。産業界で活躍する茗溪会会員のための身近なプラットフォームとして成長している」（東京茗溪会）



第1回 茗溪・筑波大学産業人会(2015.6.19)

がらも、縦から横、横から縦への波及も意図しています。東京茗溪会や茗溪会本部の試みは、各地域に事例として伝わり、近畿ブロックの「茗溪関西・教育研究・産業人会議(MKS)」発足をはじめとして、全国的な動きとなると思われます。

今年の秋に、茗溪創基150年記念事業として、各地域の方々と各界で活躍されている同窓のご参加をいただき、「産業人の集い」を全国的な広がりとして進めていこう」という趣旨で、以下のように会合が予定されています。

「茗溪・筑波産業人倶楽部全国展開発表の会」

- ・開催日時…令和3年10月3日(日)午後1時から
- ・会場…茗溪会館
- ・参加者…各地域組織の役員の方、筑波大学関係者、企業関係者、官公庁関係者、学生など

*前日、各地域でどのように産業人の集いを実現するか、知恵を出し合う会合を持つ予定です。

(3) 地域組織、産業界、教育界の三本立ての運営

茗溪会は明治15年に発足以来、学部・学科あるいは部活動等をも包括する全学同窓会として長い歴史を刻んできました。その基は教職を共通項とする同窓意識にあつたとはいえます。茗溪会はこのような経緯と実績を踏まえ、創基150年を機に、教育界に加えて産業界(官界も含む)で活躍する同窓の集まりをもう一つの柱とし、両者融合協和しながら、茗溪会のより一層の発展を目指し、活動を展開していこうと考えています。

茗溪会本部委員会のひとつに組織委員会があります。地域組織との連携協力を主な業務としていますが、加えて、二つの部会があります。ひとつは「茗溪・筑波産業人倶楽部運営部会」、もうひとつは「教職研修部会」です。つまり、茗溪会は、地域組織との連携協力を図りながら、産業界(官界も含む)と教育界を二本立てとして、今後の事業を展開していこうと考えています。

筑波大学生の教職志望者は少なく、主に教育関係者によって運営されてきた茗溪会組織が構造変革を求められ

ていることは確かです。各地域組織においても教職者以外の役員や運営担当者が今後ますます増えてくるでしょうし、その方向への変更は待たないとも思われます。しかし、それでも以下のような課題を持ち続け、解決する道を探ろうとする努力があることも確かです。

「管理職のなり手が不足しており、後継者の育成が喫緊の課題として挙げられる」(北海道茗溪会)

これは、北海道茗溪会だけの課題ではないことは自明で、具体的な行動をとっている地域もあるでしょう。

「筑波大学へ進学した学生が、再び長崎県に帰郷し、教鞭を取ることができるように教員採用試験対策としての支援も積極的に行っている」(長崎茗溪会)

このような支援は各地域にも散見されます。

一昨年から、東京、千葉、埼玉、茨城、神奈川では、合同で教員採用試験対策研修会を開催しています。

また、試験対策だけではなく、教職への誘いや新人教員に対する研修などの試みも始まりつつあります。

茗溪の矜持を胸に、産業界や官界、あるいは事業主として活躍する。茗溪レガシーを胸に教壇や研究に臨む。このような思いが「伝承と創造」の形を成し、同窓に向けた力強いメッセージとなればと願います。

茗溪で育てていただいた教育関係者として、茗溪が日本の教育を支えてきたという自負心には揺るぎがない。

「不易と流行」という言葉がある。時代の流れに敏感に反応し、組織を変革していくための新種の精神を持つことは必要なことであるが、その一方で愚直なまでに守り通さなければならぬ精神がある。

日本の教育の中心にいて、日本の教育を支えていきたい、茗溪が日本の教育を支えていかなければいけないという使命感すら感じている。

産業人も含め、茗溪のすべての人間がこの二つの精神に共感し、肩を組みながら、高らかに「宣揚歌」を歌えたらと思う。 神奈川茗溪会 大畑多津雄(S52教大数学)



宣揚歌「桐の葉」(長野県支部)

年頭にあたり 3つのお願いを 申し上げます。



1 茗溪創基150年記念基金のご寄付を、 引き続きお願い申し上げます。

年明け早々にお問い合わせいただきありがとうございます。右基金の趣旨につきましては、昨年の季刊誌等でお伝えし、ご協力をお願いしてきたところであります。その後、新型コロナウイルス感染拡大により世の中が息を潜める事態となりましたが、左表にありますが、会員の皆様からのご芳志は滞ることもなく続けられています。

このことに感謝申し上げます。

ところで、本記念基金の一部として、学生や茗溪会員への直接的な支援を目的とした基金として「茗溪・筑波ファンド」の設立を予定しております。その原資及び記念事業の推進に要する資金として一億円を想定しておりますので、引き続き、ご芳志をお願い申し上げます。

なお、ご芳志を頂いた方々の名簿につきましては、春号に掲載させていただきます。

寄付申込額	14,705,264円(11/30現在)
	12,727,264円(7/31現在)
	8,945,000円(3/25現在)
寄付申込件数	832件(11/30現在)
	725件(7/31現在)
	568件(3/25現在)

2 年会費の納入を、 引き続きお願い申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各地域組織の総会や懇親会など、同窓の会合が開催されなかったということです。

そういった事情によるものと思われませんが、今年度前期の時点で、年会費収入(正会員とフェロー会員を併せて)九三〇万円ほどです。昨年度の二、〇〇〇万円に比して、半額以下となっています。

また、一昨年度は二、六〇〇万円、さらに五年前(平成27年度)の会費収入と比べると、三分一にも満たない収入となっています。

年会費未払いの方におかれましては、お寒い中を恐縮ですが、同封させていただきました振込用紙にて、会費の納入を、どうぞよろしくお願いいたします。

また、同窓の方々とお会いする機会がございましたら、「年会費払った？」を、互いの合言葉にしていただければ、ありがたいです。

なお、前号に同封させていただいた「茗溪会の紹介リーフレット」等を活用いただき、同窓に茗溪会への加入をお勧めいただければありがたいです。

●今年度会費収入(R2/9/30現在)	
(@_@)	前年度の半額以下
(@_@;)	5年前の1/3以下
正会員会費収入	8,557,000円
	18,215,000円(R01年度)
	23,703,000円(H30年度)
	27,138,000円(H27年度)
フェロー会費収入	715,000円
	1,910,000円(R01年度)
	2,537,000円(H30年度)
	3,594,000円(H27年度)

3 年会費カード払いへの切り替えを、 よろしくお願いします。

会員の皆様に年会費の納入を促すことと同時に、年会費の納入をしやすくする方法を提案すること、納入のきっかけを提供することも大事な行動と思います。年会費の納入方法として、三つの方法がございます。

(1) 会員の多くの方は、季刊誌に同封された「払い込み用紙」を使用しての納入かと思えます。郵便局窓口まで出向かなければならないという面倒があります。

(2) 次に、ご自身の銀行口座からゆうちょ銀行(茗溪会口座)へ、毎回、ネットで払い込む方法もあります。時節柄有効とは思いますが、毎回、送金のための操作が必要ですし、別途手数料もかかる場合もあります。

(3) 第三の方法として、カード払い(カード自動引き落とし)による年会費の納入をお考えいただきたく存じます。手数料不要ですし、登録していただければ、その後、自動で引き落としとなります。同封の申込用紙をご利用いただき、お手続きを進めいただきますようお願い申し上げます。フェロー会員(年会費完納者)の方々も、同様の手続きをお取りいただくことができます。

○カード払いにつきましては、会費の規定により35回のお支払いと同時に、自動引き落としを停止する手続きをとらせていただきます。

また、退会を希望される方は、大会手続と同時に、自動引き落としを停止させていただきます。

○フェロー会員の方で、フェロー会費納入をやめる旨ご連絡いただければ、すぐに自動引き落としをやめさせていただきます。

*なお、今回カード払いへの切り替えをしていただいた方には1,000円相当のクオカードを進呈させていただきます。

逢沢	勝美	相澤	鎮夫	青田	雅樹	赤川	彰彦	淺井	康明	淺島	誠	淺沼	道成	淺野	由起雄	麻原	美子	甘利	博夫	新井	俊介	荒井	光弘	有吉	正博	飯塚	正	池田	達郎	石井	邦子	石川	弘子	石川	博之	石川	道夫	石嶋	靜一	石橋	昭雄	石橋	秀治	石原	麻理恵	石渡	和実	磯山	静子	磯山	稔	板持	頼好	板本	正夫	市橋	功	市村	一司	今枝	恒雄	岩城	明	岩田	芳子	岩村	雅朗	上野	孝裕	上松	豊	内倉	昭文
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----

内田 雅寛
内山 了治
采野 慶明
江田 昌佑
及川 良一
大石 英幸
大石 正道
大崎 公稔
大迫 正一
大島 雅夫
大谷 久子
大西 真果
大西 義人
大野 俊彦
大村 武司
岡 憲司
岡崎 一雄
岡田 一郎
小川 佳実
尾木 聖二
小口 正行
奥山 訓近
女屋 博昭
柿沼 誉
笠原 千俊
片岡 博
勝又 宏
桂本 尚樹
加藤 信哉
門脇 厚司
金子十美代
川内 孝雄
菊池 一隆
岸本 弘子
木下久仁雄
日下部公昭
草間 知子

鈴木	鈴木	杉本	菅谷	島岡	島	洪谷	洪沢	重田	塩津	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	笹月	佐々木	佐久間	坂本	阪本	坂入	斉藤	斎藤	小山	小安	小林	小林	小島	後藤	古城	合田	倉本	倉持	倉島	久保田	久保田	國吉
一弘	章方	正	公男	丘	一史	進	仁司	親志	真	道雄	正幸	千春	朱美	繁	次雄	基	宏史	知子	浩	隆	興哉	浩	知子	正之	浩行	早苗	正徳	達宏	健	浩之	芳子	武徳	浩美	尚幸	哲郎

鈴木健	鈴木久	鈴木泰全	関谷晴隆	高井貞昭	高岡正幸	鷹野誠三	高野だいわ	高野忠夫	高橋砂織	高橋康人	竹内広行	嶽間澤昌泰	田中修	田淵英樹	田村和浩	千輝克忠	塚田修三	土崎祐一郎	都築幸夫	圓谷浩之	寺井正憲	寺尾壽幸	藤堂良明	東端伸治	徳永澄憲	朽堀申二	中澤美和	中田英雄	長野武夫	中村伸夫	中村博史	中村祥男	中山慶一	中山貞夫	中山茂	仁尾武博
-----	-----	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	-----	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------

西田	靖	西村	浩宣	根市	均	根立	俊樹	野島	泰久	原	護	原	美子	原田	隆康	原田	拓二	原田	満彦	原山	晃	東	勇介	日方	威	平岡	亮	平川	信夫	平松	広太郎	平松	雅夫	平山	茂男	深谷	祐	福田	正義	福田	由紀	藤井	昭一	藤井	寛雄	藤家	昭和	藤木	正二	藤沢	謙一郎	藤本	愛子	藤本	昌男	布留川	厚	古瀬	範雄	本名	俊正	升山	義弘	松井	康成	松澤	一弘	松沢	宏明	松永	泰典	水野	雅章
----	---	----	----	----	---	----	----	----	----	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	----	----	---	----	---	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	-----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(五十音順 敬称略)

渡部	渡辺	渡部	渡辺圭一郎	若村	吉野	吉澤	吉尾健太郎	横瀬	山元	山本	山下	山口松太郎	山岸	山泉	矢野	谷中	安永真澄子	安ヶ平	安井	諸我伊左緒	森谷	森野	室生	村山	宮本	宮坂	溝口
徹	貴則	清二		泰夫	政治	敏武		千乃	俊一	明利	直信		徳治	彰	恵子	齊		浩	一郎		峰雄	光昭	晃年	昌央	幸治	博昭	繁美

『茗溪フェロー』 ご協力をお願い

茗溪会が新法人としてさらに発展・進化していくために、東京教育大学等前身諸学校から筑波大学にわたる多様な世代を結び、教育界だけでなく広く実業界に活躍する卒業生との地域・職域をこえた連携を強化することを目的として、会費完納会員を対象として創設された「茗溪フェロー」は、これまでに多数の方からのご協力をいただきました。

誠にありがとうございました。

完納会員の皆さまには、35年間にわたり茗溪会へのご支援をいただき、これまで本会を支えていただきましたことは、誠に感謝に堪えません。

茗溪会は筑波大学や在学生、さらに新しい卒業生に、一層の支援をすることは勿論ですが、本会の老・壮・青の力を集めて大きく発展することを期しています。そのためにも、皆さまには本年度もご協力をお願い申し上げます。

「茗溪フェロー」の募集要項

既に会費を完納した会員の皆さまに呼びかけて「茗溪フェロー」として、皆さまからの寄付をしていただき、今後の茗溪会の運営に寄与していただくことを目的といたします。

- 1 寄付金 1口 2,000円／年間
2 支払い方法 口数の選択 1口以上

郵便局窓口またはATMから送金してください。
会員番号は必ず記入してください。

(お送りした封筒の宛名に記載してある 8 桁の
番号)

クレジットカードでのお支払いもできます。詳細は事務局までお問い合わせください。

- 3 季刊誌『茗溪』誌上にお名前を掲載いたします。
4 納入口数に応じて、記念品を贈呈しております。

Peer Garden

交流広場

茗溪創基150年記念事業

同じ大学を卒業したということだけでは、
つながりを強く感じられないと思います
ふたつ目の理由が必要かと思うのですが
それが“茗溪”なんじゃないですか？
ある学生の発言より

●学部、学群等の同窓組織、会合、諸活動

NO	同窓組織、会合、諸活動	開催年月日	開催場所	参加数	掲載号
119	東京教育大学体育学部(s38卒)	2013/03/23	茗溪会館	60	1078
120	東京教育大学文学部英文科(s32卒)	2013/04/09	筑波大学漕艇部戸田艇庫土方REUNION HALL	9	1078
121	茗駒会(東京教育大学農学部農村経済学科 s28入学)	2013/06/05	渋谷マークシティ25F	9	1078
122	言語学科(s34・35卒 有志の会)	2013/07/03	上野浅草 浜離宮	6	1079
123	TKRS4(東京教育大学理学部数学科 s31卒)	2013/10/10	茗溪会館	10	1080
124	志んが里会(東京高等師範学校理科一部 s27卒)	2013/09/27	茗溪会館紫峰の間	8	1080
125	東京教育大学農学部林学科木材工学専攻(s41入学)	2013/10/05	新宿「玄品」	8	1080
126	東京教育大学理学部数学科(s38卒)同期会	2013/10/25	茗溪会館	16	1080
127	東京高等師範文四会(s26)『水涸れず』の集い	2013/04/25	茗溪会館占春の間	10	1080
128	東京高等師範理科一部(s27卒)	2013/10/09	茗溪会館	9	1080
129	東京教育大学農学部林学科(s41入学)クラス会	2013/12/17	小淵沢	6	1081
130	東京教育大学農学部林学科(s37入学)同期会	2014/05/13	銀座ライオン池袋東口店	12	1082
131	東京教育大学文学部史学科東洋史学専攻(s38卒)クラス会	2014/05/25	会津若松東山温泉新瀧旅館	9	1082
132	37農経会(東京教育大学農学部農村経済学科 s37卒)	2014/11/01	農林中央金庫目黒分室	9	1084
133	東京教育大学特殊教育学科(s39入学)「古希を祝う会」	2015/04/19	渋谷エクセルホテル東急	10	1086
134	三十二会(東京教育大学体育学部 s32卒)東京大会	2014/11/13	東京ステーションホテル	36	1087
135	東京教育大学理学部数学科(s30卒)クラス会	2015/06/29	林野会館	10	1087
136	東京教育大学農学部総合農学科(s34卒)同期会	2015/10/19	鴨川グランドホテル	16	1088
137	東京教育大学文学部英語英文科(s29卒)クラス会	2015/10/09	港区芝浦「牡丹」	9	1088
138	東京教育大学文学部英文科(s30卒)同期会	2015/06/13	茗荷谷 庄や	7	1088
139	37・21の会(東京教育大学農学部林学科関係の会)	2015/10/29	横浜万葉倶楽部	7	1088
140	コギトの会(東京教育大学心理学科 s37入学)	2015/11/08	信濃町鮎處八千代	13	1089
141	桐の葉の会(東京教育大学理学部数学科 s40卒クラス会)	2015/04/12	ホテル第一イン池袋	15	1089
142	三四会(東京教育大学理学部数学科 s34卒)	2016/05/24	茗溪会館占春の間	17	1090
143	東京教育大学体育学部(s34卒)神奈川の集い	2016/05/11	横浜天吉	9	1090
144	東京教育大学農学部農業工学科(s37卒)同期会	2016/05/10	オークラフロンティアホテルつくば	9	1090
145	東京教育大学文学部英語学英米文学専攻(s31卒)クラス会	2016/05/27	新宿高島屋「美先」	9	1090
146	38同期会(東京教育大学体育学部 s38入学同期会)	2016/05/31	シーサイドホテル舞子ビラ神戸	41	1091
147	東京教育大学体育学部(s51卒)第2回同窓会	2016/07/31	あべのハルカス マリOTT都ホテル	40	1091
148	東京教育大学農学部生物化学工学科(s43入学)	2016/06/04	町田「南国酒家」	10	1091
149	東京教育大学文学部心理学科(s42入学)クラス会	2016/04/03	丸ビル筑紫楼	16	1091
150	東京教育大学法律政治学科(s37入学)同期会	2016/05/30	茗溪会館	8	1091
151	言語学科ミニOB会(東京教育大学 s34～36卒)	2016/06/27	住床ホテル	9	1091
152	東京教育大学教育学部心理学科第16回生クラス会	2016/05/28	茗溪会館	17	1092
153	東京教育大学農学部農芸化学科(s43入学)クラス会	2016/10/22	茗溪会館	14	1092
154	東京教育大学農学部林学科(s53卒)クラス会	2016/05/14	旧農学部跡地	9	1092
155	東京教育大学理学部地理学科(s37入学)クラス会	2016/11/04	茗溪会館	8	1092

* 今回も、季刊誌『茗溪』(1061～1100号、平成20～30年)の「桐の葉のつどい」などに掲載されたものを一覧にしています。

* 季刊誌掲載号の順に紹介させていただきました。

* ご紹介事項が不正確であったり、追記を要する個所があるかと思ひます。修正させていただきますのでご指摘ください。

* これまで紹介させていただいた以外に、同窓組織や会合、活動等をご存じでしたら、以下にお知らせ下さい。

E-mail address : peer@meikei.or.jp



No. 125



No. 132



No. 140



No. 150

茗溪の絆

茗溪創基150年記念事業として、
本誌上で同窓の交流を図る企画
が昨年の「正月号」に始まり一
年を迎えました。

単に「同じ大学を卒業したと
いうこと」だけではなく、ふた
つ目のつながりとして、情報を
交換しあい、活用しあい、支え
あい、刺激しあう、そういった
交流を深め広めてきた。これが
「茗溪の絆」であったはずだ。
今後とも茗溪を縁としていた
だきたく、この企画を進めてお
ります。

さて、今回も「学類・学部の
交流」を紹介いたします。
昭和27年に東京高等師範理科一部
を卒業された先輩諸氏の会合
「志んが里会」No.124が茗溪会館
で開かれています。昨年、卒寿
をお迎えになられた方々の不思
議な名の会合です。

後軀(しりがり)の音変化で、
隊列や順番などの最後尾を意味
する「しんがり」かと思ひます。
東京高等師範学校は、戦後の
学制改革によって開校した東京
教育大学に包括され、昭和27年
に廃校となっています。つまり、
「志んが里会」は、東京高師最後
の卒業生という意味を込めての
会合名なのでしょう。

「志」「里」を当てた意図はな
んでしょうか？
興味が尽きません。

Peer Garden

誌上交流

茗溪創基150年記念事業

このコーナーは、同窓が経営する企業等や開業する商店・医院・事業の紹介、同窓の講演会・展覧会・演奏会・出版物等の紹介、共同研究や共同事業の呼びかけの場としたり、培った知識・技能を活かす機会やそういった人材を求めあうなど、様々な活用の仕方があるかと思います。会員の皆様で作りに上げていく広場とお考え下さい。

出版のご案内

『ゲーリーシステムの研究―大正期日本教育への導入と帰結―』

*導入経過と実践3校を検証

出井 善次 (S51教修農) 著

○発行 星雲社 (☎03-3868-3275)
○定価 (本体2,000円)

AE海老名・綾瀬法律事務所

弁護士 中道 徹 神奈川県弁護士会
(S58筑二生物 Nakamichi Toru)

Mail : toru.nakamichi@ebiaya.com
☎ 046-205-3780
HP www.ebiaya.com

採用コンサルタント/アナリスト

谷出 正直 (H17筑修体)

新卒採用や就職活動に関する講演やセミナー、研修を実施。全国で43開催 (2020年実績)。お気軽にご相談ください。

電話 090-8034-1946
メール masanaotanide@gmail.com

腰痛・肩こり専門治療院 BACK AGING

宮川 浩太 (H19筑体専)

「先天性運動」というアプローチ方法にて腰痛・肩こりの根本治療を目指します。お悩みの方は是非ご連絡ください。

○電話 03-6457-5475
○HP <https://backaging.com/>

外国観光地をレンタカーでめぐる旅 募集

アメリカ (グランドキャニオン、イエローストーン、デスヴァレー)
カナダ (カナディアン・ロッキー、プリンス・エドワード島)
オーストラリア(タスマニア)、ニュージーランド北・南島

*アメリカ・カナダは右側通行、豪州、NZは日本と同じ。

◎最初は時差の心配のない、日本と同じ左側通行の豪州がおすすめ。

◎期間7～10日 宿泊はモーターが主体です。

◎連絡先 岡本 文男 (S35教大農化) hana_and_ran@yahoo.co.jp

求職

現況、私は求職中です。もし、私に興味を持って頂けましたらご一報下さいませんか。

光武 宏昌 (H9 筑体修)

趣味：登山、特技：縦横無尽な人間関係を作れます
希望職種：就職支援関係

東京足立区在住

☎ 080-6455-0411

メール first_penguin411@icloud.com

アメリカ ユタ州



オーストラリア北部海岸



募集要項

季刊誌「茗溪」の誌上交流ですから、即効性はありません。次回の発行は春号です。その点を承知の上ご応募下さい。

(1) 誌上交流の広告内容は以下の内容とさせていただきます。

- ・同窓の会合への誘い
- ・同窓が経営する企業等の紹介
- ・同窓が開業する商店・医院・各種事務所等の紹介
- ・同窓が運営する事業等の紹介
- ・同窓の講演会・展覧会・演奏会・出版物等の紹介
- ・同窓が主催する教室(稽古場)等の紹介
- ・同窓による求人、求職
- ・共同起業、共同研究の募集
- ・事業等の共同運営者の募集
- ・その他

(2) 誌上交流への掲載料は、5,000円とさせていただきます。

*今回の誌上交流は試行ですので、無料(正月掲載分に限り)とさせていただきます。

(3) 事務局は、原則として、仲介はいたしませんので、広告内に連絡先や連絡方法を明記願います。

(4) 広告主への問い合わせや、広告主との交渉・交流につきましては、個々の責任で直接お願いいたします。

送信先(E-mail address)

peer@meikei.or.jp

※規格(縦4cm、横6cm)に収まる情報量でお願いいたします。なお、案内はご自身で作成の上、PDFで、上記宛てに送信願います。文字や内容構成に制約はございません。

令和2年度 茗 溪 会 地 域 組 織 表

	代 表 者 (卒年科)	事 務 局 担 当 者
筑波大	仏 山 輝 美 (03筑芸)	立 山 雅 博
北海道	川 口 淳 (58筑一自)	尾 形 友 秀 (05筑体) 鵜 野 和 憲 (07筑体)
青森	前 田 濟 (59筑一自)	工 藤 誠 司 (09筑体) 五十嵐 喜代敬 (09筑体)
岩手	佐 藤 有 (58筑二農)	清 水 茂 幸 (59筑体) 上 濱 龍 也 (62筑体) 澤 村 省 逸 (62筑体)
宮城	土 生 善 弘 (62筑体)	山 崎 健 二 (02筑体)
秋田	木 浪 恒 二 (58筑体)	戸 嶋 幸 子 (14筑体)
山形	津 田 浩 (58筑一自)	鳥 羽 聡 (09筑体) 羽 角 哲 弘 (05筑体) 芦 野 浩 二 (07筑一自)
福島	大 沼 博 文 (56筑二人間)	大 槻 文 彦 (10筑一自) 日 高 郁 子 (58筑一自) 長 池 裕 美 (22筑修教育)
茨城	高 村 祐 一 (61筑一人文)	太 田 泰 助 (09筑芸) 竹 内 智 則 (10筑修教)
栃木	荒 井 光 弘 (59筑一社会)	今 井 和 彦 (06筑一自) 百 瀬 亨 (09筑二日)
群馬	高 橋 浩 昭 (62筑一人文)	丸 橋 覚 (63筑一自) 高 田 博 基 (60筑体) 青 木 忠 人 (59筑一自) 菊 池 義 幸 (58筑二人間) 上 村 弥 也 (28筑院数理)
埼玉	前 島 富 雄 (47教大木工)	青 木 勇 藤 (55筑一人文) 山 本 健 敬 (59筑一自) 鈴 木 徹 也 (58筑一自)
千葉	百 瀬 明 宏 (55筑一人文)	大久保 利 宏 (52教大健) 大 木 喜 信 (07筑一自) 田 口 亜紀子 (08筑一自)
東京	高 橋 基 之 (53筑一自)	徳 田 安 伸 (55筑二農) 浅 井 一 郎 (55筑一人文)
神奈川	大 畑 多津雄 (52教大数)	大 石 進 (56筑体) 添 野 龍 雄 (57筑二農) 掛 原 豊 (54筑二農)
山梨	小 俣 宏 記 (59筑体)	根 津 敦 司 (22筑一自) 数 野 純 子 (08筑一自)
長野	北 村 桂 一 (59筑体)	大 谷 隆 典 (56筑二生) 北 野 亨 (59筑体) 藤 原 一 史 (22筑二日)

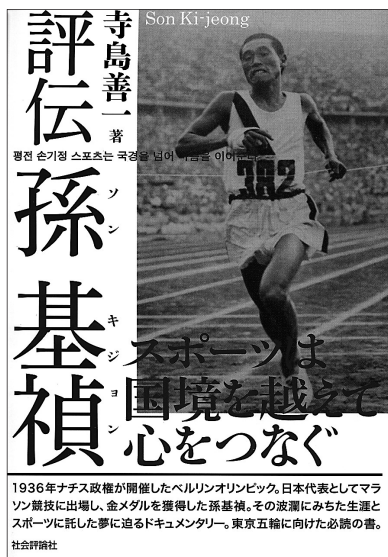
	代 表 者 (卒年科)	事 務 局 担 当 者
新潟	中 島 郁 雄 (53筑体)	夏 見 康 彦 (02筑三情)
富山	福 島 英 晴 (57筑三情)	寺 崎 啓 子 (60筑一社会) 安 村 良 紀 (14筑三工基) 箱 江 典 子 (23筑博数)
石川	田 井 友 章 (59筑体)	神 田 康 (15筑体) 松 本 彰 (50教大体) 近 岡 岳 則 (17筑二人間)
福井	金 崎 肇 (59筑一自)	田 崎 忍 (10筑体) 綿 矢 汐 里 (29筑体)
静岡	小 川 伸 吾 (60筑一人文)	山 口 恵 (63筑一自) 中 村 心之輔 (21筑芸) 遠 藤 紘 平 (30筑数理研)
愛知	竹 下 裕 隆 (56筑一社会)	蟹 江 吉 弘 (61筑一人文) 上之園 耕 司 (61筑体) 恵 良 孝 信 (05筑体)
岐阜	鈴 木 健 (59筑二生)	蒲 尚 胤 (02筑一人文) 水 野 裕 子 (01筑二人間)
滋賀	町 田 登 (47教大健)	藤 江 隆 史 (08筑体) 松 林 基 之 (07筑体) 桂 本 尚 樹 (62筑体)
三重	岡 村 芳 成 (62筑一自)	若 宮 一 哉 (06筑一自) 加 藤 英 紀 (15筑一自) 山 北 正 也 (03筑一人文)
京都	三 橋 利 彦 (58筑体)	川 合 寛 明 (59筑体) 遠 山 秀 史 (61筑一自) 奥 村 典 夫 (61筑修教)
大阪	松 本 秀 範 (53院修林)	戸井田 克 己 (59筑二比) 北 邨 淳 (19筑体) 大 橋 一 郎 (62筑体)
兵庫	升 川 清 則 (59筑体)	川 端 太 一 (15筑体) 田 中 暢 人 (23筑体)
奈良	谷 垣 康 (53筑一人文)	井 上 徳 之 (58筑一自) 岩 佐 泰 造 (13筑体) 栗 本 善 弘 (10筑体)
和歌山	川久保 尚 志 (62筑二生)	川 口 勝 也 (01筑体) 岡 本 規 (05筑体) 前 了 斗 (24筑体育)
鳥取	小 倉 健 一 (53筑体)	美多賀 鼻 孝裕 (10筑体) 出 雲 大 輔 (24筑体)
島根	境 英 俊 (57筑体)	西 村 覚 (61筑体) 塚 田 真 也 (13筑修数物) 清 水 悠 (22筑体)

	代 表 者 (卒年科)	事 務 局 担 当 者
岡山	長 尾 隆 史 (55筑体)	黒 住 伸 吾 (56筑体) 水 川 敬 介 (63筑体) 近 藤 真 妃 (06筑体)
広島	大 辻 明 (47教大体)	若 井 研 治 (09筑体) 山 下 勝 也 (58筑体) 井 藤 幹 治 (55筑体)
山口	吉 本 晃 (54筑二人間)	藤 本 秀 夫 (09筑体) 二 木 直 人 (24筑体育) 原 田 正太郎 (27筑体育)
徳島	小 原 史 明 (59筑二農)	池 渕 茂 (58筑二比) 北 條 伸 吾 (62筑一人文) 田 北 直 樹 (05筑体)
香川	香 西 新 五 (59筑体)	河 合 雄 太 (07筑体)
愛媛	星 川 志 朗 (61筑修教)	川 本 昌 宏 (04筑二農) 山 本 隆 祥 (07筑体) 友 近 拓 也 (13筑体)
高知	田 頭 克 文 (57筑体)	手 林 慎 一 (04筑二農) 山 本 英 作 (03筑二比) 下 坂 速 人 (53筑体)
福岡	稲 富 勉 (61筑体)	兒 島 悟 (07筑体) 片 山 英 和 (10筑体)
佐賀	松 雪 誉 (61筑体)	山 田 和 人 (05筑体)
長崎	渡 邊 孝 経 (59筑体)	吉 村 史 朗 (12筑一人文)
熊本	赤 星 隆 弘 (58筑体)	寺 本 護 (08筑体) 橋 本 徹 也 (12筑体) 上 田 晃 裕 (14筑体)
大分	野 尻 明 敬 (59筑二人間)	加 藤 寛 章 (62筑体) 押 田 武 (11筑体)
宮崎	川井田 和 人 (53筑体)	児 玉 洋 一 (02筑三社工) 川 内 健 二 (16筑二比) 森 山 あゆみ (20筑二資源)
鹿児島	黒 木 哲 二 (62筑二比)	前 和 樹 (11筑一人文)
沖縄	前 門 晃 (53筑一自然)	三 輪 一 義 (63筑体) 古 堅 小百合 (10筑一自) 漢 那 洋 子 (63筑一自)

『評伝 孫基禎』

スポーツは国境を越えて心をつなぐ

著 者…寺島 善一（43年教大体）
本の大きさ…B6判 全158頁
発行 所…（株）社会評論社
発行年月日…2019年4月10日



孫基禎は、日本による植民地支配の朝鮮で生まれ、数々のマラソン大会で優勝、世界記録を樹立したトップアスリートである。1936年のベルリンオリンピックに日本代表として出場し、金メダルを獲得。表彰台では「君が代」が演奏されるとうつつむき、月桂樹で胸の日の丸を隠した。

日本の敗戦後、韓国の陸上競技界の発展に尽くすとともに、世界のスポーツ界の多様な人びとと交流し、連帯と友情を深めた。

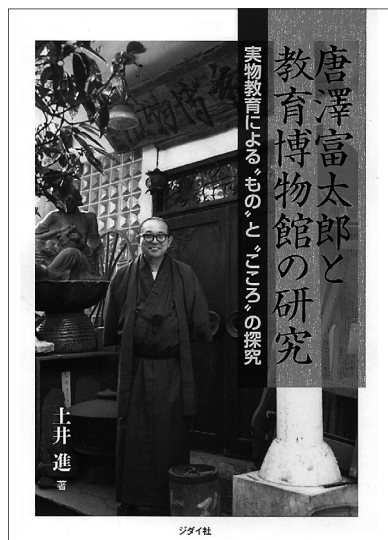
「スポーツは世界の共通言語であり、国境を越えて人びとの心を繋ぐ。それは国際連帯を深め、平和な世界を創る」—リリンピズムを体現する孫基禎のスポーツ哲学は、2020年東京五輪を迎える私たちに、多くのことを教えてくれる。

（カバー見出しより）

『唐澤富太郎と教育博物館の研究』

実物教育によるものゝところの探求

著 者…土井 進（47教大教・51年院修教）
本の大きさ…A5判 全196頁
発行 所…（株）ジグアイ社
発行年月日…2020年1月14日



著者は唐澤富太郎先生（1911〜2004）の師恩・学恩に報いたい一心をもって本書を著した。

王者的風格をもつて仏教教育思想を講義される唐澤先生に師事し、教育資料収集のお供をしたり、ライフワーク「教育博物館」上・中・下の製作過程に一貫して携わった。

信州大学に勤務した22年間は、唐澤博物館を訪問する機会は絶えたが、淑徳大学に勤務してからの6年間、毎年学生と唐澤博物館を訪問し、アクティブ・ラーニングを実践した。その成果が本書となって結実した。

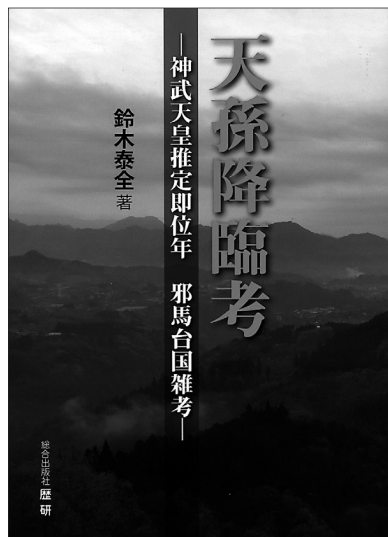
唐澤先生から受けた指導の中で忘れられないのは、挫折した時に厳しく言われた「事上錬磨」という言葉である。その時に「我々は生きた年数によって老いるのではない。理想を棄てることによって老いるのである。歳月は膚に皺をきざむ。しかし、情熱を失えば魂に皺が刻まれる」と訓えていただいた。

（著者記）

『天孫降臨考』

神武天皇推定即位年 邪馬台国雑考

著 者…鈴木 泰全（52年教大書）
本の大きさ…A5判 全44頁
発行 所…（合）歴研
発行年月日…2019年11月23日



邪馬台国九州説に賛同し、この数年発表した支持論考を一冊にまとめました。

コノハナサクヤヒメが神武天皇の祖母の世代であると考え、神武天皇推定即位年の割り出しを試みました。平均在位年を参考に神武天皇即位年は24年辛酉の年であろうと見当をつきました。神武天皇即位年とされる紀元660年からは実に900年の開きがあります。

東征お船出の段に、天祖の降臨から「一百七十九万二千四百七十歳」が経過したと語られますが、これは179年と247年と余年を暗示したもので、紀年の延伸加算年を削ぎ落した実年数です。

「179年」は、241年の神武天皇即位から419年の孝元天皇崩年までの時代区分年です。「247年」は、允恭天皇が「使持節都督倭・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓六国諸軍事」の加号を得た451年から持統天皇終年の697年に至る時代区分年であることを示しています。420年から450年までが兩朝並立期の「余年」です。

（著者記）

筑波大学は今

指定国立大学法人の指定について

令和2年10月15日付けで文部科学大臣より指定国立大学法人の指定を受けました。

指定国立大学法人とは、我が国の大学における教育研究水準の向上とイノベーション創出を図るため、文部科学大臣が世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる国立大学法人を指定するものです。指定を受けた大学は、国内の競争環境の枠組みから出て、国際的な競争環境の中で、世界の有力大学と伍していくことが求められ、社会や経済の発展に貢献する取組の具体的な成果を積極的に発信し、国立大学改革の推進役としての役割を果たすことが期待されます。



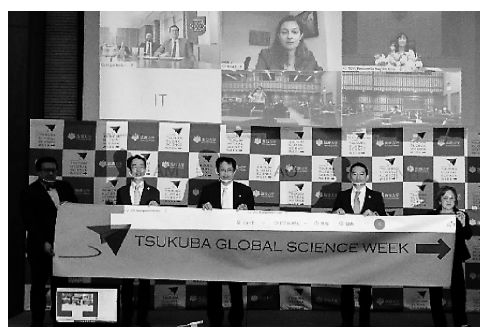
「Tsukuba Global Science Week (TGSW) 2020」を開催

TGSWは、国境や研究領域を超えた連携ネットワークを構築し、地球規模課題に対する解決策を世界に向けて発信することを目的に、本学が主催しています。

通算10回目となる「TGSW2020」は、オンライン方式を取り入れつつ、2020年9月から2021年2月の間計24セッションと23件の研究ポスター発表が行われます。12月4日時点で、世界54か国・地域から960名が参加登録しています。

9月28日に開催されたオープニング総会では、「ポストコロナ社会を目指して―都市と大学の連携―」をテーマに、永田学長の開会挨拶の後、国立成功大学（台湾）の Huey-Jen Jenny Su 学長およびエディンバラ大学（英国）の Devi Sridhar 教授が基調講演を行いました。続いて、ドイツ・ポツダム市の Thomas Eiskirch 市長とつくば市の五十嵐立青市長からの話題提供に基づき、登壇者全員で、パネルディスカッションを行い、その様子はインターネット配信されました。

来年度はTGSWに代わり、筑波会議2021が開催される予定です。今回の成果を踏まえ、本学並びに筑波研究学園都市の国際的プレゼンスの向上を目指していきます。



「PRIDE指標2020」12回目の「Gold」を取賞

LGBTに関する本学のガイドラインが、「PRIDE指標※2020」において、5つの指標全てをクリアし、3回目となる「Gold」を受賞しました。今年度は特に、地方自治体等からパートナー証明が発行された教職員に対して、休暇、休業、諸手当および旅費の福利厚生を定めたことが評価されました。今回、4大学が「Gold」を受賞しましたが、学生だけでなく教職員への対応までガイドラインに具体的に明記したことは、他の大学に先駆けた取り組みです。今後は、制度をつくっただけでなく、制度を利用しやすい環境を整えていく必要があります。引き続き、一層の意識啓発に取り組んでいく予定です。

※PRIDE指標…企業などの団体における、性的マイノリティに關するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する人に団体 work with Pride が策定した評価指標。行動宣言、人事制度など5つの指標があり、それらの達成度に応じて、ゴールド、シルバー、ブロンズとして表彰される。

文部科学省スポーツ功労者顕彰受賞と第89回全日本自転車競技選手権トラック2020の6冠達成

人間総合科学学術院 人間総合科学学研究群（博士前期課程）体育学学位プログラム1年の梶原悠未さんが、文部科学省スポーツ功労者顕彰を受賞しました。受賞理由は、2月28日にドイツ・ベルリンで開催されたUCIトラック世界選手権2020女子オムニアムでの優勝で、自転車界初のスポーツ功労者顕彰です。表彰式は、11月7日、全日本自転車競技選手権トラック競技会場の群馬県前橋市マダグリンドームにて行われました。

また、11月5日から11月8日に開催された第89回全日本自転車競技選手権トラック2020において、エリミネーション優勝（初代チャンピオン）、ポイントレース優勝（4連覇）、3km個人パシユート優勝（4連覇）、スクラッチ優勝（初優勝）、マディソン優勝（3連覇）、オムニアム優勝（3連覇、4回目）の6冠を達成しました。梶原さんは、東京五輪女子オムニアム代表に内定しています。



茗溪学園だより

中学に「アカデミアクラス」開設

令和3年度から中学に開設する「アカデミア（AC）クラス」への入学者募集が始まりました。本校中学の募集は6学級ですが、そのうちの2学級をACクラスとする計画です。

古代ギリシア時代にプラトンが開設した学園「アカデメイア」から引用したのですが、より深い学びと時代の求める優れた人材育成のための教育を追求する本学園のチャレンジ精神を表すネーミングです。

近年、高校―大学の接続のあり方について改革が進められています。同時に中学高校時代の学びについても変化が求められています。それに答える学びの場として設置するのがACクラスです。テストに出題された問題に解答できるだけでは、実社会に通用するスキルとしては不十分です。よりよい答えを求めて、何が正しいかを突きつめて考えていく知性を磨く訓練をしなければなりません。批判的思考力、創造的思考力を養い、問題解決のために行動する実践力を育てなければなりません。ACクラスには、そのためのカリキュラムが用意されています。同時にここで養われる学力は、大学進学に当たっても充分な力となります。

模擬国連出場

第14回模擬国連が11月14・15日に開催され、本校ベア（高1・高2）も出場しました。

今回のテーマは「宇宙利用（USES OF OUTER SPACE）」で、例年よりも参加数を減らし、54組108名の高校生が書類選考に合格し



ブラジル大使として参加。宇宙開発利用の国際ルールの枠組みなどについて白熱した議論を交わした。



発表した生徒達。
それぞれのテーマ：ポケモンゴーと地域活性、つくばエクスプレスの考察、地域医療問題

部活動など結果報告（9月～11月）

- ◎**高校ラグビー部**：県大会優勝全国大会出場（9年連続26回目、東大阪市花園ラグビー場12月27日から）
- ◎**高校軟式野球部**：秋季関東大会準優勝
- ◎**中学テニス部**：関東中学生テニス選手権大会出場（男女とも）/男子3位となり全国選抜大会出場（香川県3月開催）
- ◎**中学剣道部**：県新人大会/男・団体優勝
- ◎**中学バドミントン部**：県新人大会/男女とも団体優勝（2年連続）、男ダブルス優勝、男シングルス準優勝、女ダブルス優勝
- ◎**高校バドミントン部**：県新人大会/男シングルス優勝、男ダブルス準優勝
- ◎**中学体操部**：県新人大会/女子団体優勝、女個人総合優勝、男個人総合優勝
- ◎**高校体操部**：県新人大会/男団体3位、女団体準優勝、男個人総合準優勝（全国選抜大会出場）
- ◎**演劇部**：県高校演劇祭・優秀校、関東大会出場（千葉県柏市1月開催）
- ◎**室内学部**：第30回定期演奏会開催（11月3日本校アグラホールにて、右写真）

「第10回アジア地域科学セミナー（Asian Conference in Regional Science）」が開催され、本校生徒も参加しました。このセミナーは「応用地域学会」が主催し、今回の担当が筑

「アジア地域科学セミナー」に参加

「模擬国連出場に向けて、リサーチの仕方やルールの把握に苦戦したが、事前調査で多くの方にお話を伺うことができたのが本当に良かった。全国のハイレベルな高校生と議論できたことはとても貴重な経験となった。ご協力いただいた方々に感謝しています。」
この経験を生かして、多面的な視点を持って課題解決に取り組めるように成長していきたいということでした。

「各国の立場や状況が異なる中で、利害を一致させつつ、自国の国益を確保しながら議論をしていくというのは、とても難しかった。内政と外交に分かれて行動できた点は良かったと思う。」
会議での議論を終えての二人の感想です。

出場しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの開催となりました。
大会参加に向けて二人は、事前調査活動を行い、スペースデブリ（宇宙ゴミ）除去サービスの開発に取り組む「アストロスケールホールディング社」や「JAXA」を訪問し、宇宙利用に関わる様々な課題について学びました。

波大学であったことから、筑波大学大澤義明教授からお声かけいただき参加の運びとなりました。

セミナーはオンラインで実施され、中国、韓国、台湾、日本の研究者が発表する中、本校生からは、「個人課題研究」で地域発展をテーマに取り組んだ生徒の研究3件が発表されました。発表および質疑応答は英語で行われることから、IBクラスの生徒とチームを組み、発表と質疑応答に備えて練習をして臨みました。

オンライン・サイエンスセミナー開催

小学生を対象とし、科学実験を自宅で楽しもうという企画です。夏休み中に2回行っており、この11月は3回目の開催でした。

本校科学部化学班の部員が実験方法について説明をしながら進めました。テーマは、「生きている!?不思議な生物『スライム』を作って遊ぼう」と「炭酸ナトリウムを用いた『葉脈標本づくり』に挑戦！」でした。参加者から「楽しくできました」という感想をいただきました。



室内楽部定期演奏会：「アラジンメドレー」（ディズニー映画）、「シバの女王の入場」（ヘンデル作曲）などを演奏、ライブ配信にも挑戦した

追悼録（敬称略）

逝去会員氏名・卒年科・地域・
逝去年月日・続き柄・遺族氏名

立花 正	19臨教	静岡	R 2. 7. 6	長男	立花 正史	菅宮 和夫	29教大物	東京	R 2. 6. 12	長男	菅宮 真樹
中本 明生	20教大	神奈川	R 2. 7. 15	妻	中本 幸代	中村 善治	30教大	群馬	R 2. 10. 30	妻	中村 ちあ
岩下 金司	20農教	茨城	R 1. 5. 17	次男	岩下 英基	杉村 健	30教大	奈良	R 1. 7. 13	妻	杉村 照子
和田 弘	22体	岐阜	R 1. 5. 10	長男	和田 尚幸	小宮 定志	31院修植	埼玉	R 2. 4. 6	長女	浦田 愛美
梶原 亨	23体	静岡	R 2. 7. 24	妻	梶原 静子	齋藤 仁一	31教大	群馬	R 2. 9. 9	妻	齋藤 ひさ子
田中 太七	23文二	長野	R 2. 6. 25	長男	田中 雅孝	越智 三王	31教大	神奈川	R 2. 4. 21	妻	越智 多美子
水谷 明	23理一	愛知	R 2. 2. 22	妻	水谷 享子	奥村 清	31教大	徳島	R 2. 7. 28	妻	奥村 陽子
武内あや子	24大倫	東京	R 2. 9. 24		武内 健二	勝井 三雄	31専攻	東京	R 1. 8. 12	妻	勝井 沙子
城川 明	24農教	富山	H31. 3. 2	長男	城川 康雄	伊藤 貞夫	32教大	山形	R 2. 7. 26	息子	伊藤 康一
千葉 末治	24文二	青森	R 2. 6. 5	長男	千葉 正治	向山 薫	33教大	東京	R 2. 1. 9	妻	向山 妙子
大嶽 秀行	26体	千葉	R 2. 9. 2	長男	大嶽 昇	永瀬金一郎	34院博	東京	R 2. 5. 31	妻	永瀬 貴美
剛力 重和	26体	東京	R 2. 7. 9	長男	剛力 正和	池田 熙	34教大	東京	R 1. 6. 12	妻	池田 安子
北原 安門	26大地	東京	R 2. 1. 17	妻	北原 ゆき子	白田 充	34教大	東京	R 2. 9. 20	妻	白田 君子
石山 薫	26大哲	埼玉	R 2. 8. 26	長男	石山 史郎	熊谷 武志	35教大	東京	R 2. 1. 28	妻	熊谷 弘江
山岸 徳治	26文四	長野	R 2. 9. 20	長男	山岸 一夫	最上 隆二	35教大	秋田	R 2. 7. 31	妻	最上 律子
石原 保穂	28教大	茨城	H31. 4. 25	妻	石原 ひで子	白川 兼悦	35教大	東京	R 1. 7. 10	妻	白川 佳子
石川 充重	28教大	愛知	R 2. 7. 16	妻	石川 直子	松尾 孝子	37教大	鹿児島	R 2. 8. 1	夫	松尾 善弘
石川 旭	28教大	神奈川	R 2. 1. 17	妻	石川 恵子	岩井 英夫	39教大	石川	R 2. 5. 4	妻	岩井 洋子
大竹 修一	28大漢	東京	R 2. 6. 22	長男	大竹 俊生	板倉 達雄	40教大	静岡	R 2. 11. 5	長女	板倉 百合
福井 正信	28大動	神奈川	R 2. 2. 27	長女	栗原 亜津沙	須崎 邦彦	41教大	山形	R 2. 6. 10	妻	須崎 哲子
入江 巖	29教大	神奈川	R 2. 6. 3	娘	石井 ふさ子	内藤 榮樹	42教大	新潟	R 2. 4. 26	妻	内藤 八重子
松川 彰	29教大	静岡	R 2. 4. 18	妻	松川 洋子	大塚 正充	44教大	埼玉	H29. 11. 4	妻	大塚 宗子



Service Safety Sincerity
あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO
Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学
大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の
支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正 樹（学校法人 若漢学園理事）

つくば本部／茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若漢会担当：取締役常務執行役員 岡本 俊一
（昭和56年 第一学群 社会学類 卒業）

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

大曾根タクシー株式会社

代表取締役 塚本 育子

☆お迎え料金無料
☆カード利用 OK!
☆貸切バス事業者より
安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑 3 丁目 19-4

TEL 029-864-0301
FAX 029-864-4727
メールアドレス <http://www.taxi.e-tsuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302
各営業所に通じます

令和2年春の叙勲

おめでとうございます(追記敬称略)

瑞宝中綬章

中山 貞夫 32教大農化
大塚 喜英 39教大休

(東京)
(神奈川)

令和2年文化功労者・秋の叙勲

おめでとうございます(敬称略)

文化功労者

加藤 澤男 45教大休 49院修休
瑞宝中綬章

(筑波大)

戸谷 賢司 48教大休

(東京)

瑞宝小綬章
大栗 克元 45教大健

(栃木)

山脇 俊彦 35教大数

(千葉)

川端 春生 36教大休

(東京)

朝野 哲夫 50院修地

(神奈川)

鈴木 彰 49教大休

(静岡)

栗原 進 49教大農

(京都)

竹延 信三 42教大林

(鹿兒島)

瀬田 豊文 45教大健

(佐賀)

旭日双光章
永渕 義久 48教大地鉦

(東京)

高齡者叙勲(七月・瑞宝小綬章)
杉山 浩一 32教大休

(東京)

※本欄は、各地域からの調査報告により掲載しております。もし記載もれがある場合は、事務局までお知らせください。

広報

「筑波大学新聞」2020年10月号を同封します。

昨年の1106・夏秋合併号には同封できなかった「筑波大学新聞」10月号を今回同封します。

公益財団法人 柴田育英会だより

柴田育英会では2020年度も筑波大学より一名、慶応大学より一名の推薦を受け奨学生として採用し、現在全8名に奨学金を給付しています。

公益財団法人に対して3年毎に行われる内閣府の立入検査が、1月14日(木)に実施される予定です。

表紙の言葉

筑波大OG 須藤優実

2019年11月、全日本学生ハンドボール選手権大会が仙台にて開催されました。筑波大学男子ハンドボール部の初戦の日に撮ったのがこの1枚です。美しい日の出に「いよいよ始まる」という緊張感や高揚感が重なる思い出深い瞬間です。この後、チームは勝ち続けて14年ぶりの日本一に輝きました。

それからの1年は、誰にも予想できなかった困難に見舞われました。2020年春リーグは中止、秋リーグは試合数を減らし無観客で開催するも最終戦直前で中止。しかし、そのような状況でも部員達はオンライントレーニング、試合の実況解説付きライブ配信、SNSを活用した積極的な広報活動など、様々な取り組みにチャレンジし続けました。どんな逆境でも前を向いて努力し、心からハンドボールを楽しむ姿は輝いて見えます。私は昨春から看護師として働き始めました。社会人1年目を振り返ると悩むことも多々ありましたが、彼らに沢山の勇気と優しさをもらい今があります。ハンドボール部とのご縁に感謝するとともに、私も前進し続けます。

編集後記

本来ですと「新年あけまして…」と始まるべきところですが、新型コロナウイルスの感染拡大は12月下旬時点では止まる気配はなく、右肩上がりの感染者数が毎日報道されています。本号が皆様のお手元に届く頃には、多少ながらも感染収束の兆しが見えてくることを願うばかりです。

このような状況を鑑み、本号では例年の「誌上交流広告・謹賀新年」と「茗溪・東西南北」を取り止めました。また、「桐の葉のつどい」も投稿がなく、本号に限り、いつもより4頁少ない構成となっています。

次号は、2021年4月15日発行の1108・春号を予定しています。(事務局)

お願い

- ・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡ください。
- ・年会費のお振込みは、早めにお願ひいたします。

令和3年1月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

TEL 012 東京都文京区大塚 一五二三

TEL 03 三三九四一〇一三六

FAX 03 三三九四一七六七四

Email info@mekeior.jp

URL http://www.mekeior.jp

郵便振替記号番号 0015 0014 977

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台 一〇一

TEL 029 八五〇一〇四四

FAX 029 八五〇一〇四四

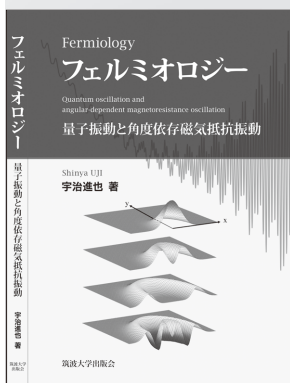
Email tsujinuu@mekeior.jp

印刷 東京都文京区関口 一三九一〇

山浦印刷株式会社

筑波大学出版会より はじめてのフェルミオロジー専門書を **新刊**

宇治進也 著



Fermiology

量子振動と 角度依存磁気抵抗振動

A5判並製224頁 本体 4,500円+税
ISBN 978-4-904074-58-9 C3042 紙版
ISBN 978-4-904074-59-6 電子版

詳細なフェルミ面の構造や情報を得る手法を理論計算と実験結果を比較しながら分かりやすく解説しています。98点の図と4頁分の記号表そして22の補足も充実し3章から4章までは圧巻です

販売: 丸善出版株式会社

株式会社 阿部兄弟建築事務所
平成26年度東京ワークライフバランス認定企業

<http://abeoffice.co.jp>



〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル

代表取締役 **荒井 豊人** (昭和57筑基工)

TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120

経営・労務・年金etc. コンサルタント
福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3

TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551

所 長 福岡 一雄 (32教大法政)
社会保険労務士



URL <http://www.juwa.com> E-mail: travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254
TEL 0297 (52) 1 2 2 1 FAX 0297 (52) 1 2 2 0

株式会社 岩手チキン工房

— みんなに笑顔をお届けします。 —

代表取締役 田中 修 (昭54筑農林)
社長

〒028-3309 岩手県紫波郡紫波町北日詰字城内85-1
TEL: 019(676)4121 FAX: 019(676)4464
<http://www.i-c-koubou.co.jp>

スポーツ & 起業家 & 企業人「つくばウェイ」
TSUKUBA WAY プロジェクト
～ 茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!! ～

<http://tsukubaway.com/>

株式会社 KTAJ

代表取締役 藤田 文武 (体育専門学郡)
2004年卒

FXC
Future X Communications

FXC株式会社 <https://www.fxc.jp/>

当社は光通信機器やイーサネットスイッチ等のネットワーク機器を開発・製造し、各地の公立高校始め、官公庁、企業等に多数納入実績がございます。

創業者: 代表取締役社長執行役員 谷輪 重之 (93筑修経営)

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 **ケエスアイ**

東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1
東京フジビル502号室

TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669

株式会社 長谷工 コーポレーション

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号

電話 03(3456)5478

取締役常務執行役員 植岡 祥之 (昭57筑社工)

広告を募集しています。事務局までご相談ください。

一般社団法人 茗溪会

〒112-0012 東京都文京区大塚1丁目5番23号

電話 03(3941)0136 FAX 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp ホームページ <http://www.meikei.or.jp>



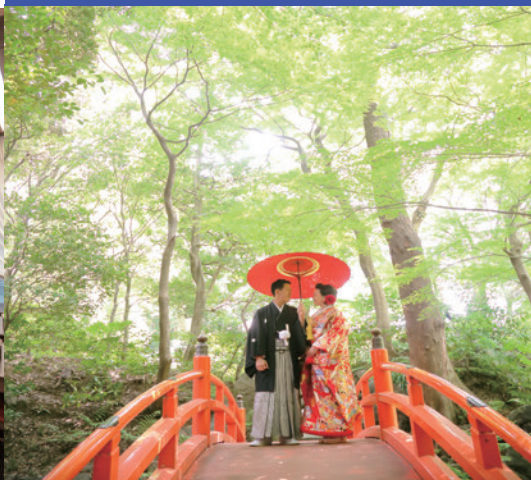
Restaurant & Cafe

ランチ・カフェ・ディナー

“嘉ノ雅” 茗溪館
KANOBi MEIKEIKAN
Wedding
結婚式・結納・フォト

Party & Meeting

宴会・同窓会・会議



筑波大学生・卒業生・関係者の皆様だけに贈る

ご優待特典

ご婚礼 費用総額より5%OFF

お食事 飲食合計より10%OFF

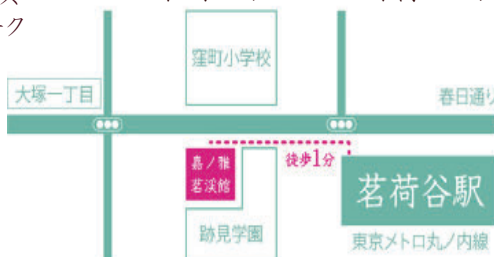
期間限定 全室無料貸し出し ※会食を伴う場合のみ ※～21年3月末迄

※ご家族様、ご親族様もご利用可。※カフェでのご利用は対象外。

茗溪会

▶茗溪会会員カードをお持ちの方は、
ご提示ください。
※ご提示は必須ではございません。

池袋駅から約 5 分・東京駅から約 10 分。
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩約 1 分。



“嘉ノ雅” 茗溪館
KANOBi MEIKEIKAN

TEL: 03-5319-1890

問い合わせメールアドレス: info@kanobi-meikeikan.com

営業時間: 11:00 ~ 21:00 定休日: 不定休※要問合せ

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-5-23

HP: <http://www.kanobi-meikeikan.com/>

▼HP▼LINE友達募集中▼



ID:@enc2843s

(株)ブライダルは
筑波大学同窓会会員の
皆様の「結婚」を応援します。



結婚

42年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に筑波大同窓会の皆様には平成17年より「筑波大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「茗溪」を見たとおっしゃってくだされば、茗溪会の皆様は登録料100%OFFにてご入会頂けます。

筑波大コース 登録料
100%OFF

ブライダルコース
¥231,000 ▶ ¥198,000 etc.*

エクセレントコース
¥396,000 ▶ ¥363,000 etc.*

※価格は会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

お問い合わせ
(月曜定休)



0120-415-412

詳しくはホームページをご覧ください。

(株)ブライダル

検索



ホームページ <http://www.bridal-vip.co.jp>



1978年創業
株式会社

ブライダル

東京本社

〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F

東京ビジネスホテル 茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金（税サ込）
（ただし、オリンピック期間など除外期間あり）

シングルB（バス・トイレ別） ￥4,500～￥ 6,700
シングルA（バス・トイレ付） ￥5,700～￥ 9,000
ツイン（バス・トイレ付） ￥8,000～￥14,500
朝食バイキング ￥1,200→￥ 840
大浴場時間 : 6:30～9:00 17:00～01:00



東京都新宿区新宿6-3-2
TEL 03 (3356) 4605
FAX 03 (3356) 4606

地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1番出口
都営新宿線 新宿三丁目駅 C7出口
地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2出口
JR新宿駅より車5分 } より徒歩7分



桜美林大学

J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
グローバル・コミュニケーション学群
航空・マネジメント学群（2020年4月開設）

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
学長 畑山 浩昭
入学部相談役 川田 孝一（昭39教大総農）

【お問合せ先】
〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758
桜美林大学インフォメーションセンター
Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



One Theme
クレイス叢書

学びの「エンゲージメント」

主体的に学習に取り組む態度の評価と育て方

櫻井茂男 著 四六判, 160頁 定価（本体1,800円+税）

主体的に学ぶ子どもを育てる鍵は
学びの「エンゲージメント」にあり！

- 学びの「エンゲージメント」とは、
「学習課題に没頭して取り組んでいる心理状態」のこと。
- 学習意欲・動機づけ研究の第一人者が、
心理学の概念「エンゲージメント」を足掛かりに
「主体的に学習に取り組む態度」についてわかりやすく解説。



〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15
http://www.toshobunka.co.jp/

図書文化

TEL. 03-3943-2511 FAX. 03-3943-2519

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

* 茗溪学園は 1979 年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です

- ◆寮のある学校です
海外からの外国人留学生も生活しています
- ◆国際バカロレア IBDP 課程認定校です
- ◆文部科学省 SSH・SGH アソシエイト認定校です
- ◆「知識」「体験」「考え方」
——とことん学び身につけます
- ◆部活動が盛んな文武両道の学校です

「SS研究・個人課題研究発表会」
(後援：筑波大学)および
「SSH活動報告会」開催のお知らせ

期日：令和3年3月9日(火)

会場：茗溪学園内

内容：本校高校2年生SS研究および個人課題
研究(優秀研究)口頭発表・ポスター発表、
2020年度SSH活動成果報告
一般公開いたします。

(詳細は下記メールでお問い合わせください)



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)